DENON

ブルーレイディスク / DVDビデオ プレーヤー

DVD-3800BD

取扱説明書

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

基本操作のしかた

便利な操作のしかた

初期設定のしかた

その他について

結露（つゆつき）について

暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを結露（つゆつき）と呼びます。

- 本機を寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
- 暖房をつけたばかりの部屋で操作するとき
- 湿気の多いところで使うとき
- エアコンのそばなど、直接風の当たる場所で使うとき

など、内部で結露が起こったり、内部のレンズにつゆ（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。
このようなときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく乾燥のため放置して、湿気がなくなるまで操作しないでください。

レーザーピックアップについて

この取扱説明書との該当部分と、「故障かな?と思ったら」☞ 39ページ をよくお読みになり、操作を行っても正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理について

本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

リサイクルについて

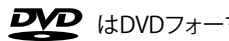
本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。
お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。
乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地方自治体の規制にしたがって処分してください。

ステレオ音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

登録商標について

本製品は、以下の技術を採用して生産されています。（順不同）

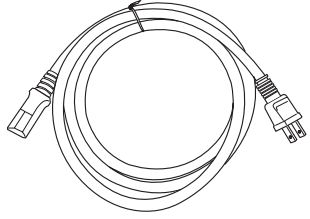
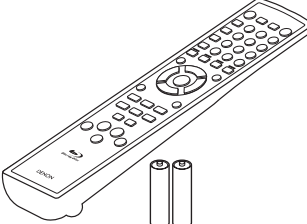
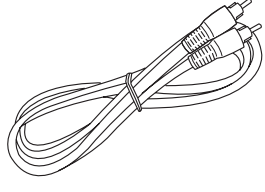
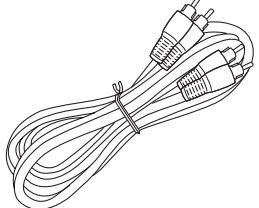
は商標です。

はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LCCの商標または登録商標です。

Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブルD記号（DD）はドルビーラボラトリーズの商標です。

本機は以下のライセンスに基づき製造されています。
（米国特許番号 5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762、6,487,535、その他の米国および他の国において出願中の特許。）
DTS、DTS Digital Surround、および DTSロゴや記号はDTS社の登録商標または商標です。

"KODAK"はイーストマン・コダック社の登録商標です。

Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

電源コード ··········· 1本 【本機専用】 （コードの長さ：約2m）	リモコン（RC-1092） ···· 1個 単3形乾電池 ········· 2本
映像コード ··········· 1本 （コードの長さ：約1.5m）	音声コード ··········· 1本 （コードの長さ：約1.5m）

取扱説明書（本書） ······························ 1冊
製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表 ··········· 1枚
保証書【梱包箱に添付】

Advanced AL24 Processingについて

リニアPCMなど信号(BD/DVD、音楽用CD)の再生系に独自の高速信号検出・処理技術で時間軸領域での情報量を大幅に向上させた「Advanced AL24 Processing」を2チャンネル出力に搭載しました。24bitへのデータ拡張に加え、アップコンバート・サンプリングによる、オリジナルデータを損なうことのない自然な補間処理を行います。

さらに7.1チャンネル音声出力には、デノン独自のアナログ波形再現技術「AL24 Processing PLUS」を搭載。すべてのマルチリニアPCM信号ソースにおいて、高音質を実現しています。

Advanced AL24 Processingの処理中は、フロントパネルの「Advanced AL24 ランプ」が点灯します。☞ 9ページ

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、
ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

《ご使用になる前に》

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

禁止

付属の電源コードを使用する
他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは
電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは
- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

手を挟まれないように注意

指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない
特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する
放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない
内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

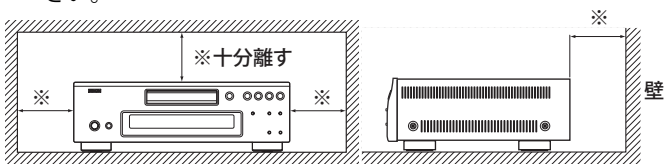
注意

5 年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

◎ 放熱のため、本機の天面、背面および両側面と壁や他のAV機器などと十分離して設置してください。

◎ AVアンプ等の上に、本機を置いてご使用にならないでください。

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は本機から離れたところでご使用ください。

移動させるときのご注意

ディスクを取り出して電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外してから行ってください。

お手入れのしかた

◎ キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

◎ ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますのでご使用にならないでください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、レーザーピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

- **本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。**

メディアについて

本機で使用できるディスク

本機で再生できるディスクは、次のとおりです。
ただし、特殊形状のディスクの再生は故障の原因になりますので、使用しないでください。

再生できるメディア	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ
BDビデオ*1	Blu-ray Disc	デジタル音声・映像（MPEG2方式、MPEG-4 AVC、SMPTE VC-1方式）	12cm盤/8cm盤
BD-R(Ver. 1.1)*2			
BD-RE(Ver. 2.1)*2			
DVDビデオ*1	DVD VIDEO	デジタル音声・映像（MPEG2方式）	12cm盤/8cm盤
DVD-R*3 DVD-R DL*3	DVD R	デジタル音声・映像（MPEG2方式）、MP3、WMA*5、デジタル画像（JPEG方式）、デジタル音声・映像（DivX®方式*6）	
DVD-RW*3	DVD RW		
CD（CD-DA）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声（CD-DA方式）、MP3、WMA*5、デジタル画像（JPEG方式）、デジタル音声・映像（DivX®方式*6）	12cm盤/8cm盤
CD-R*4	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable		
CD-RW*4	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable		
DTS-CD（5.1音楽ディスク）	-	デジタル音声	12cm盤
ピクチャーCD	Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像（JPEG方式）	12cm盤

- **BD-R/-REでは、デジタル放送で使用されるAAC音声の再生は可能ですが、パソコンなどで記録されたAAC音声の再生はできません。**

ご注意

BDプレーヤーとBDビデオおよびDVDプレーヤーとDVDビデオは、それぞれリージョンコード（地域ごとに割りあてられたコード）を持っています。そのコードが一致しないと再生ができないしくみです。

BDビデオ

DVDビデオ

- 本機で再生できるBDビデオのリージョンコードは**A**（または**A**を含むもの）です。
- 本機で再生できるDVDビデオのリージョンコードは**2**または**ALL**です。
- 本機のリージョンコードまたはカラー方式（NTSC）とは異なるBD、DVDレコーダー（PALなど）で録画したディスクは再生できません。

＊1：BDビデオやDVDビデオの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。

＊2：本機は、**BDMV**(Blu-ray Disc Movie)**モードまたはBDAV**(Blu-ray Disc Audio/Visual)**モードで記録**されたBD-R/-REを再生することができます。
なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。
また、ファイナライズ（クローズ）を行っていないBD-Rは再生できないことがあります。

＊3：本機は、**VR**（ビデオレコーディング）**モードまたはビデオモードで記録**されたDVD-R/-RWを再生することができます。
なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。
また、ファイナライズを行っていないディスクは再生できません。

＊4：CD-R/-RWは、ディスクの記録状態によっては正常に再生できない場合があります。

＊5：デジタル著作権管理（DRM：Digital Rights Management）によって保護されているWMAデータファイルは再生できません。

＊6：DivX® Certified製品
標準のDivX®メディアファイル再生機能が付いたDivX®ビデオを再生（DivX® 6 も含むすべてのバージョンに対応）
DivX®にグローバル動き補償（GMC：Global Motion Compensation）技術が含まれているファイルは再生できません。

下記のディスクは再生できません。

- リージョンコードに『A』を含まないBDビデオ
- リージョンコードが『2』または『ALL』以外のDVDビデオ
- Ver. 1.0（カートリッジタイプ）のBD-RE
- Ver. 1.2(HTL 4xまたはLTH 2x)のBD-R
- BD-ROM
- MP3、JPEG、WMAおよびDivX®ファイルを記録した、BD-R/-RE
- HD DVDディスク
- Total Hi Def、BD-DVDコンビネーションなどのディスク
- DVDオーディオ（ビデオパートのみ再生可能）
- DVD-ROM/RAM（DVD-ROMではDivX® 3.11、4.x、5.x、6の各データファイルは再生可能）
- 互換性のないフォーマットで記録されたDVD-R/-RW
- 未ファイナライズのDVD-R/-RWまたはCD-R/-RW
- CD-ROM（MP3、JPEG、WMA、DivX® 3.11、4.x、5.x、6の各データファイルは再生可能）
- スーパーオーディオCD（ハイブリッドディスクで、通常の音楽用CD層に記録された音声のみ再生可能）
- CDV（オーディオパートのみ再生可能）
- CD-G（音声のみ出力可能）
- 規格外の音楽用CD（コピーコントロール付CDなど）
- 無許可のディスク（海賊版のディスク）
- 記録領域が少ないディスク（直径55mm以下）
- VSD、CVD、ビデオCD、スーパービデオCD、CD-I、フォトCD　など

ディスクの持ちかた

ディスク記録面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- 再生したい記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm盤ディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cm盤ディスクはアダプターを使用せずに内周トレイガイド（図2）に合わせて、水平に載せてください。

図1

図2

- 再生できないディスクを入れた場合、またはディスクを裏返しに入れた場合は、本機のディスプレイに"-------------"を表示します。

ご注意

電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

本機で使用できるSDカード

本機で再生できるSDカードは、次のとおりです。

再生できるカードの種類	再生できるファイル
SDカード（8MB～2GB）	・MP3　・WMA　・JPEG ・BD用ピクチャー・イン・ピクチャー字幕または、その他の拡張機能をもつBDプロファイル1.1
SDHCカード（4GB）	
miniSDカード（8MB～2GB）	
microSDカード（8MB～2GB）	

- ファイルシステムがFAT12またはFAT16のSDカード、およびFAT32のSDHCカードに対応しています。
- miniSDカードまたはmicroSDカードには、専用のアダプタが必要となります。

ご注意

- SDカードのファイル再生中にカードを抜いたり、本機の電源を切らないでください。ファイルが壊れたり、故障の原因になることがあります。
- SDカードをパソコンでフォーマット（初期化）すると、本機で使用できない場合があります。そのようなときは、本機でフォーマットしてください。☞ **37**ページ
- SDカードに記録したDivX®ファイルの再生はできません。
- SDカードは分解したり、修理しないでください。
- SDカードの金属端子（記録）部を指などで直接触らないでください。
- 本機はminiSDHCカード、およびmicroSDHCカードには対応していません。
- 本製品の一部は、ARIS/SOLANA/4Cの許諾のもと提供され、著作権法によって保護されています。

ディスクやSDカードを入れる際のご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクやSDカードはご使用にならないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクやSDカードはご使用にならないでください。そのままご使用になると、ディスクやSDカードが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁止されています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
- この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクの取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

ディスクやSDカードの保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクやSDカードを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- ふき取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽くふく

円周に沿ってはふかない

ご注意

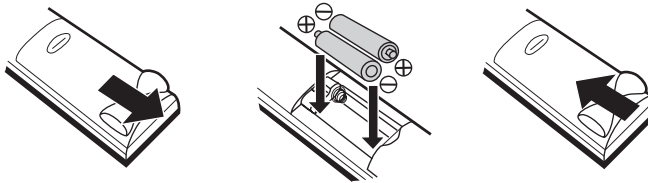
レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、ご使用にならないでください。

リモコンについて

乾電池の入れかた

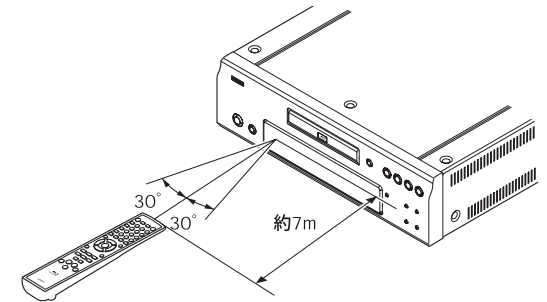
①ふたをはずす。

②単３形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れる。

③ふたを元通りにする。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜてご使用にならないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜてご使用にならないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入したりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れが起こったときは、乾電池収納部内についた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

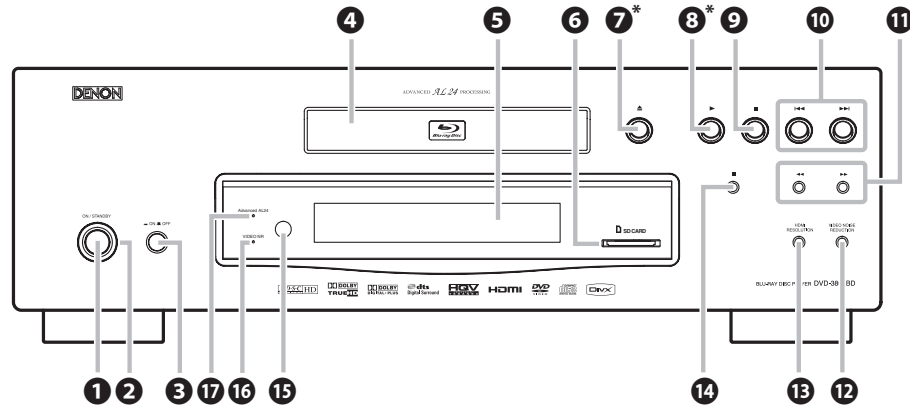
リモコンの使いかた

- リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。
- 左右30°までの範囲で、約7m離れたところまで使用できます。

ご注意

リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。

各部の名前について

各部の働きなど詳しい説明については、（　）内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ 電源ボタン（ON / STANDBY）・・・・・・・ （16）
❷ 電源表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （16）
❸ 電源スイッチ（▁ON/■OFF）・・・・・・・ （16）
❹ ディスクトレイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （7）
❺ ディスプレイ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （10）
❻ SDカードスロット・・・・・・・・・・・・・・・・・ （26）
❼* ディスクトレイ
オープン/クローズボタン（ ▲ ）・・・・・・ （16）
❽* プレイボタン（ ▶ ） ・・・・・・・・・・・・・・・ （16）
❾ ストップボタン（ ■ ）・・・・・・・・・・・・・・・ （16）
❿ スキップボタン（|◀◀、▶▶|） ・・・・・・・・・ （27）
⓫ 早送り（スロー）/早戻しボタン
（◀◀、▶▶）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （27）
⓬ ビデオノイズリダクションボタン
（VIDEO NOISE REDUCTION） ・・・・・・・ （23）
⓭ HDMI解像度ボタン
（HDMI RESOLUTION）・・・・・・・・・・・・・ （13）
⓮ ポーズ/コマ送りボタン（❚❚ ）・・・・・・・・ （16）
⓯ リモコン受光部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （8）
⓰ VIDEO NR ランプ・・・・・・・・・・・・・・・・・ （23）
⓱ Advanced AL24 ランプ ・・・・・・・・・・・ （3）

- ＊の記されているボタンを押しても、電源を入れることができます。

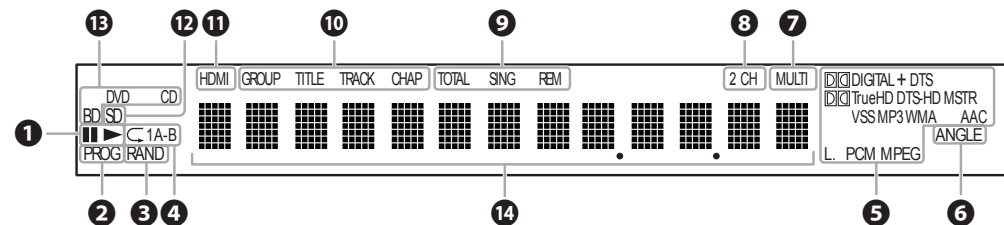
リアパネル

❶ デジタル音声出力端子
（DIGITAL OUT OPTICAL/COAXIAL）・・ （15）
❷ HDMI出力端子（HDMI OUT）・・・・・・ （13）
❸ RS-232C入力端子
拡張用のコントロール端子です。
❹ 電源入力端子（AC IN） ・・・・・・・・・・・ （15）
❺ ワイヤードリモコン入出力端子
（ROOM TO ROOM IN/OUT）
拡張用のコントロール端子です。
❻ 色差映像出力端子
（COMPONENT VIDEO OUT）・・・・・・・ （12）
❼ S映像出力端子（S-VIDEO OUT）・・・・ （12）
❽ 映像出力端子（VIDEO OUT）・・・・・・・ （12）
❾ アナログ2チャンネル音声出力端子
（2ch AUDIO OUT）・・・・・・・・・・・・・・・ （12）
❿ アナログ7.1チャンネル音声出力端子
（7.1ch AUDIO OUT） ・・・・・・・・・・・・・ （15）

ご注意

端子内部のピンには絶対に触れないでください。静電気を引き起こし、故障の原因になることがあります。

《ご使用になる前に》

ディスプレイ

❶ ►：再生中に表示します。
 ▮▮：一時停止中またはコマ送り再生中に表示します。

❷ プログラム再生中に表示します。

❸ ランダム再生中に表示します。

❹ リピート再生中に表示します。

❺ 再生中のファイルやデコードされた音声信号などのフォーマットを表示します。

❻ 複数のアングルが収録されているディスクの再生中に表示します。

❼ 音声信号がマルチチャンネルのときに表示します。

❽ 音声信号が2チャンネルのときに表示します。

❾ 時間表示モード名を表示します。

TOTAL：音楽用CDの総合計再生経過時間を表示します。

SING：プログラム再生設定中にトラックまたはファイルがハイライトされているとき、あるいはトラックまたはファイルの再生中に表示します。

REM：再生中のトラックまたはファイルの残時間を表示します。

❿ 再生するディスクの種類に合わせ、曲の区切りの名称を表示します。

⓫ HDMIの映像または音声信号を出力しているときに表示します。HDMIケーブルが正しく接続されていない場合や、接続機器が認識されない場合は表示されません。

⓬ SDカードが挿入されているときに表示します。

⓭ 再生しているディスクの種類を表示します。

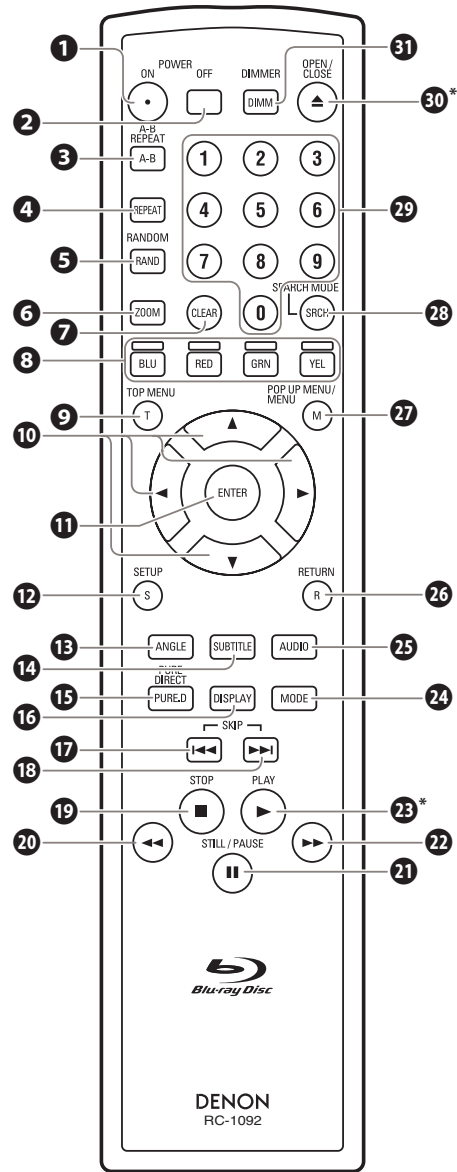
⓮ ディスクの各種情報や再生経過時間などを表示します。

- 100以上のタイトルが収録されたBDを再生したときの経過時間の表示方式は次のように異なります。
 例） 経過時間が1分38秒のときの表示
 ・1〜99タイトルの場合 “0:01:38”
 ・100タイトル以降の場合 “0 .01 .38”

操作時の表示について

ディスプレイの表示	内容
POWER-ON	電源を入れたとき
POWER-OFF	スタンバイ状態にしたとき
OPEN	トレイを開けたとき
CLOSE	トレイを閉めたとき
LOADING	ディスク読み込み中
NO DISC	ディスクが入っていないとき
NO SD MEMORY	SDカードが入っていないとき
‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐‐	再生できないディスクまたはSDカードが入っているとき
480.P	HDMI出力モードで480pが設定されているとき
720.P	HDMI出力モードで720pが設定されているとき
1080.i	HDMI出力モードで1080iが設定されているとき
1080.P	HDMI出力モードで1080pが設定されているとき
1080.P24	HDMI出力モードで1080p 24フレームが設定されているとき
Normal	ピュアダイレクト機能が切のとき
Display Off	ピュアダイレクト機能でディスプレイの表示を切にしたとき
Video Off	ピュアダイレクト機能で映像信号の出力を切にしたとき
All Off	ピュアダイレクト機能で映像信号の出力とディスプレイの表示を切にしたとき
P00 01	プログラム再生設定中の登録数と現在選んでいる音楽用CDのトラック番号
P00 F001-0002	プログラム再生設定中の登録数と現在選んでいるフォルダ番号とMP3、WMA、JPEGのファイル番号
P00 ROOT-0002	プログラム再生設定中の登録数と現在選んでいる最も上の階層のフォルダ番号またはMP3、WMA、JPEGのファイル番号
ALL CLEAR	プログラム再生設定中に“All Clear”を選択したとき

リモコン

各部の働きなど詳しい説明については、（　）内のページを参照してください。

❶ 電源入ボタン ………………… (16)
❷ 電源切ボタン ………………… (16)
❸ A-Bリピートボタン …………… (28)
❹ リピートボタン ……………… (28)
❺ ランダムボタン………………… (29)
❻ ズームボタン ………………… (25)
❼ クリアボタン…………………… (26)
❽ 青/赤/緑/黄ボタン…………… ※
❾ トップメニューボタン ………… (17)
❿ カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）・ (17)
⓫ エンターボタン……………… (17)
⓬ セットアップボタン…………… (31)
⓭ アングルボタン……………… (19)
⓮ サブタイトルボタン ………… (19)
⓯ ピュアダイレクトボタン………… (24)
⓰ ディスプレイボタン ………… (29)
⓱ スキップボタン（|◀◀）………… (27)
⓲ スキップボタン（▶▶|）………… (27)
⓳ ストップボタン（■）…………… (16)
⓴ 早戻しボタン（◀◀）………… (27)
㉑ ポーズ/コマ送りボタン（❚❚）…… (16)
㉒ 早送り/スローボタン（▶▶）…… (27)
㉓* プレイボタン（▶）………… (16)
㉔ モードボタン ………………… (22)
㉕ オーディオボタン …………… (18)
㉖ リターンボタン……………… (11)
㉗ ポップアップメニュー/メニューボタン ………… (17)
㉘ サーチモードボタン………… (27)
㉙ 数字ボタン（0〜9）………… (17)
㉚* オープン/クローズボタン（⏏）… (16)
㉛ ディマーボタン……………… (25)

- ＊の記されているボタンを押しても、電源を入れることができます。
- [ZOOM]、[RANDOM]は、BDには働きません。
- ※はBDのメニュー画面を操作するときに使用することがあります。

デノン製DVDプレーヤー用リモコンで本機を動作させなくするには

本機とは別に当社製のDVDプレーヤーがあり、そのDVDプレーヤー用リモコンを使うと、本機も動作します。そのような場合、本機がDVDプレーヤー用リモコンで動作しないように設定することができます。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 数字ボタンの[7]、[8]、[9]、[2]を押す。

3 もう一度、[SETUP]を押す。

- テレビ画面の右上に、"Only Attached Remocon" が表示され、本機に付属のリモコン操作のみを受け付けます。
- お買い上げ時の設定に戻すには、手順2で[7]、[8]、[9]、[1] を押すと、"Normal Remocon" が表示され、従来のリモコンで本機の動作が可能になります。
- 従来のリモコンで本機の動作を行う場合、お使いのプレーヤーの製造年度や形式により、一部の操作が機能しないものがあります。このときは、本機に付属のリモコンをお使いください。

本機のリモコンコード設定（本体側）

本機のほかに当社製BDプレーヤーがある場合には、本機のリモコンで、ほかのBDプレーヤーも動作します。
本体とリモコンをそれぞれのリモコンコードに変更することで、2台のプレーヤー本体が同時に動かないように設定できます。本機側とリモコン側のリモコンコードが異なる場合は、リモコンで本体の操作ができなくなります。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶] で"CUSTOM"を選び、[ENTER] を押す。

3 [◀/▶] で"Other"を選び、[ENTER] を押す。

4 [▲/▼] で"Remote Control Setting"を選ぶ。

5 [ENTER] で "DENON1" または "DENON2" を選ぶ。

6 [SETUP]を押し、設定を完了する。

- この時点で、設定が有効になりますので、つづけて下記「本機のリモコンコード設定（リモコン側）」にしたがい、本体側のリモコンコードに合うようにリモコン側のリモコンコードの変更を行ってください。

本機のリモコンコード設定（リモコン側）

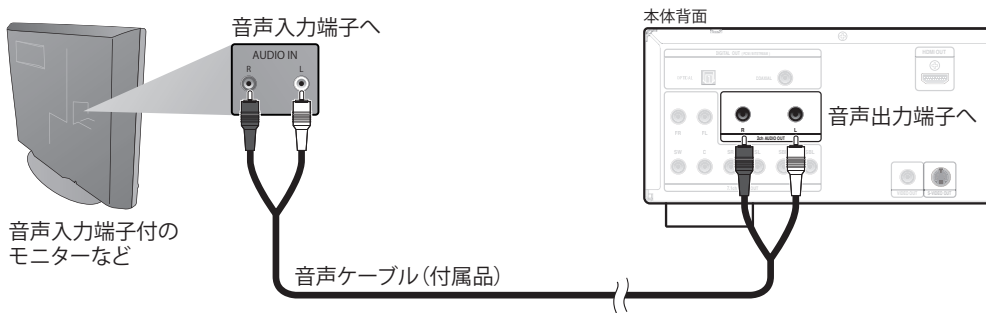
"DENON 1"にするには、[RETURN]を押しながら[3]、[2]、[1]を押す。
"DENON 2"にするには、[RETURN]を押しながら[1]、[2]、[3]を押す。

- 本体側とリモコン側のリモコンコードが一致しない場合は、リモコンのいずれかのボタンを押すと、リモコン側で設定されているリモコンコードがディスプレイに表示されます。

- 本機をテレビに接続したあとで設定してください。☞ 12-15ページ
- お買い上げ時の設定、電池を入れ換えたときのリモコンコードは"DENON 1"です。

接続のしかた

テレビの音声端子との接続

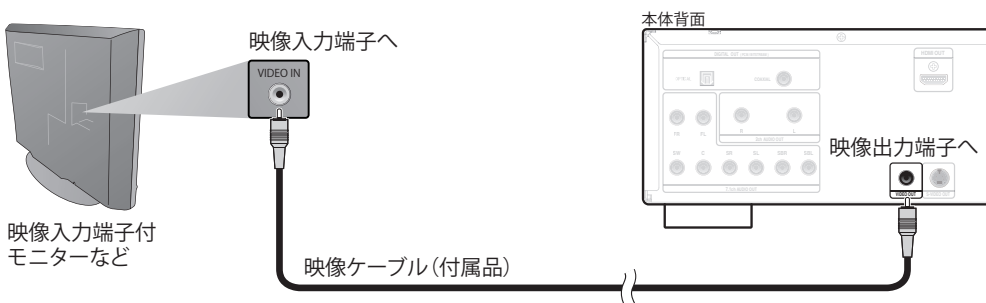
テレビの音声入力端子に、本機に付属の音声ケーブルを使用して接続してください。

テレビの映像端子との接続

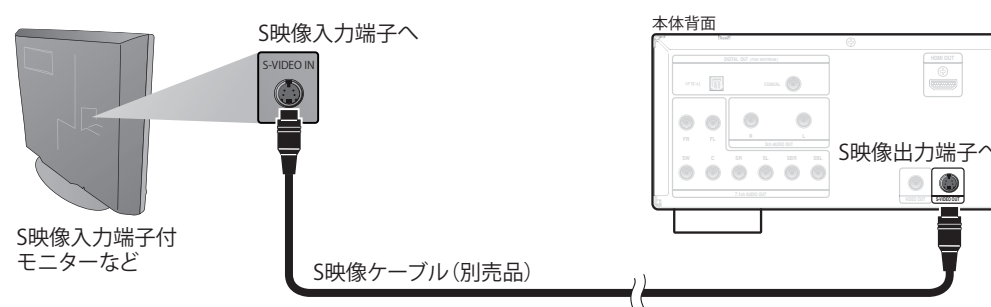
お持ちのテレビの映像入力端子に合わせて、本機の映像端子を接続してください。

❏ 映像入力端子への接続

テレビの映像入力端子に、本機に付属の映像ケーブルを使用して接続してください。

ご注意

- 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。VTR（ビデオテープレコーダー）経由で接続しないでください。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。

❏ S映像入力端子への接続

お持ちのテレビがS映像入力端子付きの場合、S映像ケーブル（別売品）を使用して接続してください。

❏ 色差（コンポーネント）映像入力端子への接続

お持ちのテレビが色差映像入力端子付きの場合、コンポーネント映像ケーブル（別売品）を使用して接続してください。ピンプラグ端子またはBNC端子に対応しています。

- 接続するテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、色差映像出力端子と接続してください。
- 本機の色差映像出力は、480i/480p/720p/1080i出力に対応しています。480p/720p/1080i入力に対応していないテレビの場合は、「セットアップメニューの “CUSTOM” ⇨ “ ” ⇨ “Video”で “Component Output”の設定を “480i”に設定してください。（ BDコンテンツを再生中は、480i出力は出来ません。）
- 本機をコンポーネント映像ケーブルとHDMIケーブルの両方でテレビなどと接続し、“HDMI Video Resolution”を “1080p”または“1080p 24”に設定した場合には、映像が正しく表示されないことがあります。そのような場合は、HDMI出力解像度を“1080i”以下に設定してください。
- お持ちのテレビのD映像入力端子で接続される場合には、D映像⇔色差映像変換ケーブル（別売品）を使用して本機に接続してください。

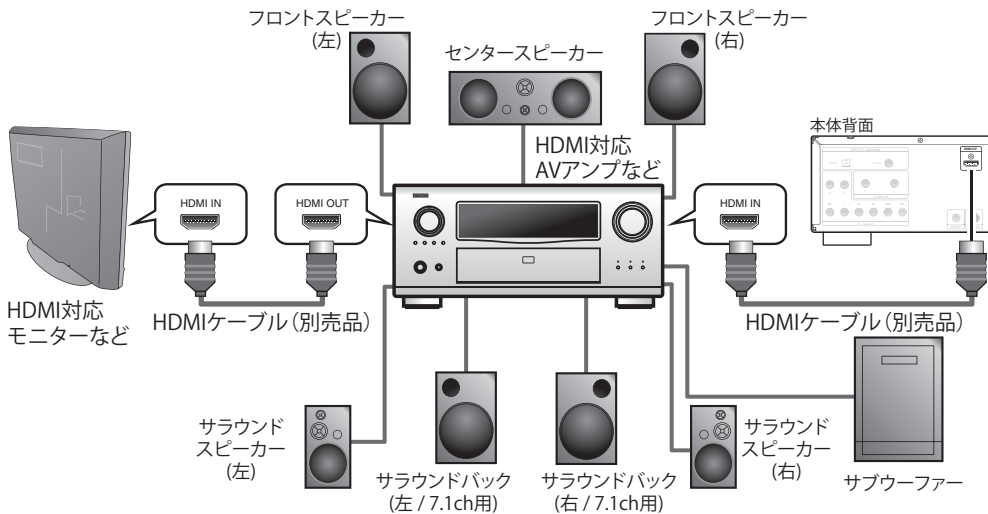
HDMIケーブルを使用したデジタル接続

*HDMI: High-Definition Multimedia Interface

HDMI入力端子付きのテレビに、HDMIケーブル（別売品）を使用して接続してください。
デジタル映像とデジタル音声（マルチチャンネル）の両方のデジタル伝送ができます。

- HDMIケーブルはHDMIロゴのついた（HDMI認証品）ケーブルをご使用ください。HDMIロゴのない（HDMI非認証品）ケーブルを使用した場合は正常に再生ができない場合があります。

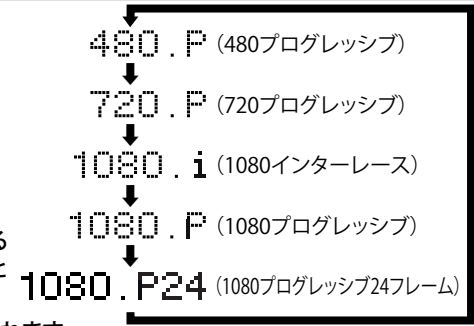
HDMIケーブルを使用したテレビおよびAVアンプとのデジタル接続

HDMI入力端子付きのテレビおよびAVアンプに、HDMIケーブル（別売品）を使用して接続してください。

HDMI映像出力設定

リモコンの**[SETUP]**を押し、セットアップメニューの“ ”⇨“ ”⇨“Video”で下記の設定を行ってください。Video設定に関する詳細は、「初期設定のしかた」をご覧ください。☞ **32-33**ページ

設定項目	内容	設定値
HDMI Select	HDMI映像信号の出力形式を設定します。	“YCbCr”または“RGB”
HDMI RGB Setting	RGB出力の映像レンジを設定します。	“Normal”または“Enhanced”
HDMI Video Resolution	お持ちのテレビに対応したHDMI映像解像度を設定します。	サポートしていない解像度はグレーで表示されます。
HDMI Deep Color	色深度（ディープカラー）を拡張して出力するときに設定します。	“Auto”または“Off”

480.P（480プログレッシブ）
↓
720.P（720プログレッシブ）
↓
1080.i（1080インターレース）
↓
1080.P（1080プログレッシブ）
↓
1080.P24（1080プログレッシブ24フレーム）

- “HDMI Video Resolution”は、本体前面の<**HDMI RESOLUTION**>を繰り返し押して変更することもできます。出力モードの切換は右の図のとおりです。
- 再生を行っているときに、HDMI映像解像度の切換や、接続先機器の電源を切ったり、入力を切り換えるなどの操作を行うと、音声・映像が一時途切れることがあります。
- 設定したHDMI映像解像度がディスプレイに表示されます。
- BDの再生中に<**HDMI RESOLUTION**>を押してHDMI映像解像度を変更すると、変更に数秒〜10秒程度かかります。この間、映像・音声は停止状態となります。
- HDMIケーブルとコンポーネント映像ケーブルを同時に接続している場合、HDMI解像度が1080pのときは、色差映像出力端子からの映像が正しく出力されない場合があります。
- BDでは、1080プログレッシブ24フレームとして、フィルム素材（1秒間に24フレームで撮影）を記録した高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。お持ちのテレビが1080プログレッシブ24フレームに対応していない場合は、“HDMI Video Resolution”を“1080p24”に設定できません。
- “HDMI Video Resolution”を“1080p24”に設定していても、セットアップメニューの“ ”⇨“ ”⇨“Video”で“I/P Direct”を“Off”に設定した場合やDVDでは、対応している解像度で出力されます。
- “HDMI Deep Color”は、お持ちのテレビがHDMIディープカラーに対応で、HDMIケーブルを接続している場合のみ選択できます。
- セットアップメニューの“ ”⇨“ ”⇨“Video”で“HDMI Deep Color”の設定を“Auto”に、または“HDMI Video Resolution”の設定を“1080p”または“1080p24”でお楽しみいただくには、High Speed HDMIケーブルのご使用を推奨します。
- BDコンテンツを1080プログレッシブ 24フレームで再生している場合は、本機の映像/S映像/色差映像端子から正しく映像が出力されません。
- 本機とお持ちのテレビを色差映像出力端子で接続している場合、“HDMI Select”を“RGB”または、“HDMI Deep Color”を“Auto”にすると、映像が正しく出力されない場合があります。

音声設定について

HDMIケーブルを接続しているテレビや機器のシステムに合わせ、リモコンの[SETUP]を押し、セットアップメニューの“ ”⇨“ ”⇨“HDMI Audio Out”で下記の設定を行ってください。

接続する機器	“HDMI Audio Out” 設定	
DTSやDTS-HD、ドルビーデジタルやドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDのデコードに対応している機器	HDMI Multi(Normal)	DTSやドルビーデジタルビットストリーム信号が接続先のテレビやAVアンプなどで変換されます。※HDMI音声のスピーカー設定などはできません。接続したアンプなどのAV機器側でスピーカーの設定を行ってください。
3ch以上の音声入力に対応している機器 ※DTS-HD、ドルビーデジタルプラスやドルビーTrueHDには非対応	HDMI Multi(LPCM)	マルチチャンネルのリニアPCM音声をHDMI端子からの音声出力で楽しむことができます。“HDMI Audio Out”⇨“Speaker Setting”でスピーカーの設定ができます。☞ 35ページ
2ch音声入力に対応している機器または音声入力に対応していない機器	HDMI 2ch	HDMI出力端子からは、ダウンミックスされた2チャンネルのリニアPCM音声信号を出力します。接続したアンプなどのAV機器側でスピーカーの設定を行ってください。
映像信号をHDMIケーブルを経由して出力し、音声信号をデジタル音声入力端子付やアナログ7.1チャンネル音声入力端子付きAVアンプなどから出力	Audio Mute	HDMI出力端子からの音声出力を停止し、デジタル音声出力（光/同軸）からのドルビーデジタルやDTSの音声信号を“Digital Out”で選択された“Bitstream”または“LPCM”で出力します。また、マルチチャンネルの音声をアナログ7.1チャンネル音声出力端子からの音声出力で楽しむことができます。“7.1ch Audio Out”⇨“Speaker Setting”でスピーカー設定ができます。☞ 35ページ

◎ HDMI出力端子からの音声信号

ディスクの種類	音声記録方式	“HDMI Audio Out” 設定		
		“HDMI Multi(Normal)”	“HDMI Multi(LPCM)”	“HDMI 2ch”
BD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル*1	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタルプラス*1	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	ドルビーTrueHD	ドルビーTrueHD*1	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	DTS	DTS*1	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	DTS-HD	DTS-HD*1	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	リニアPCM	マルチリニアPCM	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
BD-R/-RE	AAC	AAC	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	リニアPCM	マルチリニアPCM	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
DVD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	DTS	DTS	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	リニアPCM	マルチリニアPCM	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
DivX®	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
	MP3、MP2	2chリニアPCM	2chリニアPCM	2chリニアPCM
音楽用CD、MP3、WMA		2chリニアPCM	2chリニアPCM	2chリニアPCM
DTS-CD		DTS	マルチリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM

*1 “BD Audio Mode”を“Mix Audio Output”に設定しているときは、マルチリニアPCMが出力されます。

- “HDMI Audio Out”で“HDMI Multi(Normal)”を設定していても、ビットストリームに対応していない機器が接続されている場合、音声はマルチリニアPCMまたは2chリニアPCMで出力されます。

◎ 著作権保護システムについて

HDMI接続を通してBDビデオやDVDビデオのデジタル映像と音声を再生するためには、プレーヤーとテレビやAVアンプなどの双方がHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System)と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。HDCPはデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。本機はHDCPに対応しています。

ご注意

- HDCPに対応していない機器を接続した場合は、正常に映像が出力されません。お手持ちのテレビやAVアンプなどについては取扱説明書をご覧ください。
- HDMI対応機器の中には、HDMI端子経由でほかの機器を制御できるものがありますが、本機をHDMI端子経由でほかの機器からコントロールすることはできません。
- HDMI端子からの音声信号（サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など）は、接続する機器により制限されることがあります。アナログ音声も同様に制限されます。
- プロジェクターなどのHDMI対応モニターによっては、音声信号入力に対応していない場合があります。そのような機器と本機を接続した場合は、HDMI端子からの音声信号は出力されません。
- 接続するテレビやモニターの対応している解像度にあわせて、本機の解像度を設定してください。

◎ デジタル音声出力（光/同軸）端子からの音声信号

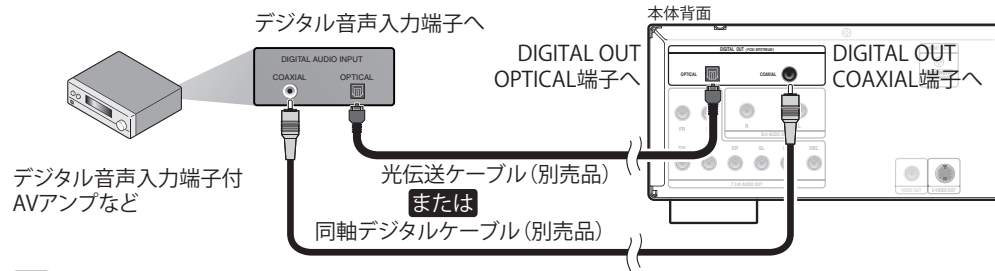
ディスクの種類	音声記録方式	“Digital Out” 設定	
		“Bitstream”	“LPCM”
BD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chリニアPCM
	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chリニアPCM*2
	ドルビーTrueHD	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chリニアPCM*2
	DTS	DTS*1	ダウンミックス2chリニアPCM
	DTS-HD	DTS*1	ダウンミックス2chリニアPCM*2
	リニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM*	ダウンミックス2chリニアPCM
BD-R/-RE	AAC	AAC	ダウンミックス2chリニアPCM
	リニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
DVD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chリニアPCM
	DTS	DTS	ダウンミックス2chリニアPCM
	リニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM	ダウンミックス2chリニアPCM
DivX®	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chリニアPCM
	MP3、MP2	2chリニアPCM	2chリニアPCM
音楽用CD、MP3、WMA		2chリニアPCM	2chリニアPCM
DTS-CD		DTS	ダウンミックス2chリニアPCM

*1 “BD Audio Mode”を“Mix Audio Output”に設定しているときに、インタラクティブオーディオや第二音声が収録されたBDの再生では、ドルビーデジタルの音声が出力されます。

*2 “Digital Out”設定で“LPCM”出力を有効にする場合は、セットアップメニューの“ ”⇨“ ”⇨“BD Audio Mode”を“Mix Audio Output”に設定してください。（“HD Audio Output”を選択している場合は、Bitstream信号で出力されます。）☞ 22,34ページ

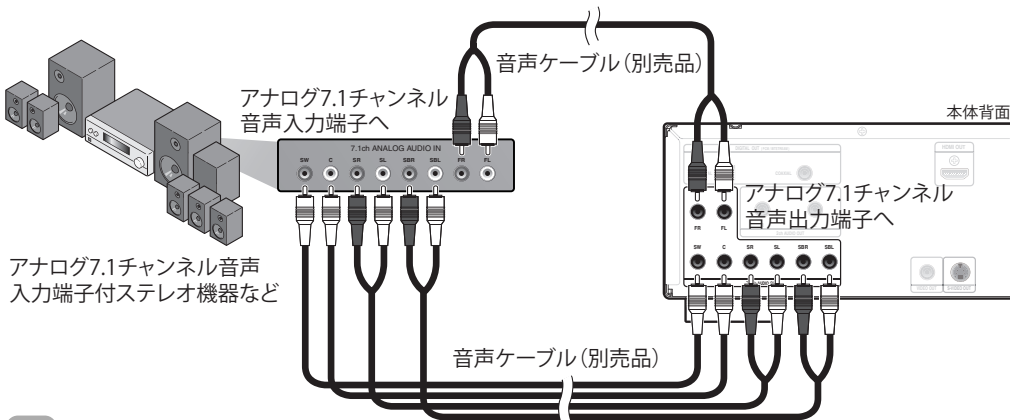
- 上記の各信号は、“HDMI Audio Out”を“Audio Mute”に設定しているときにのみ有効です。

デコーダ内蔵のAVアンプとのデジタル接続

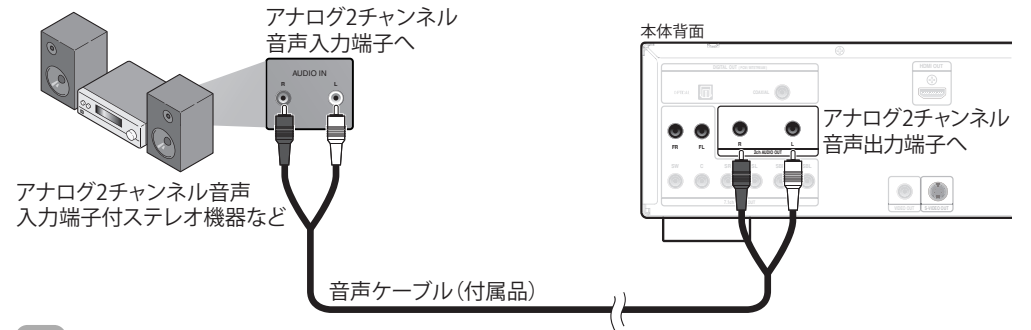
ドルビーデジタルプラスやドルビーTrueHDまたはDTS-HDの音声が収録されたBDを再生すると、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームを出力します。ドルビーデジタルデコーダまたはDTSデコーダ内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声を楽しむことができます。

- DTSに対応していないAVアンプ（デコーダ）と接続した場合、DTSで収録されたBD/DVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 光伝送ケーブル（別売品）で接続するときは、形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

形状を合わす

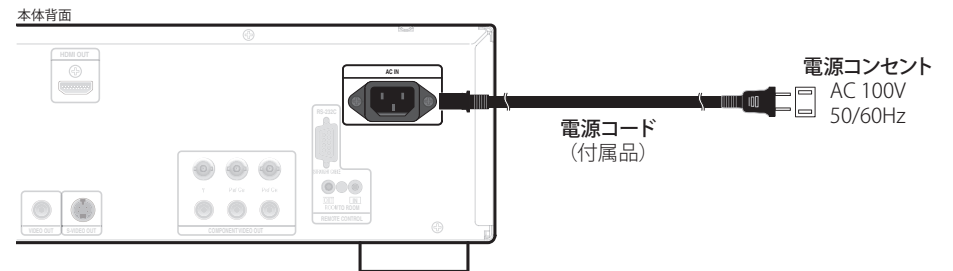
アナログ7.1チャンネル音声入力端子がある機器とのサラウンド接続

お持ちのオーディオシステムがアナログ7.1チャンネル音声入力端子付きの場合、音声ケーブル（別売品）を使用して接続してください。

- 5.1チャンネルサラウンドシステムのAV機器に接続する場合は、SBR/SBL（サラウンドバック）端子には何も接続しません。また、セットアップメニューの“CUSTOM”⇨“[スピーカー]”⇨“7.1ch Audio Out”⇨“Multi Channel”⇨“Speaker Configuration”で“Surround Back”を“None”に設定してください。

アナログ2チャンネル音声入力端子がある機器との接続

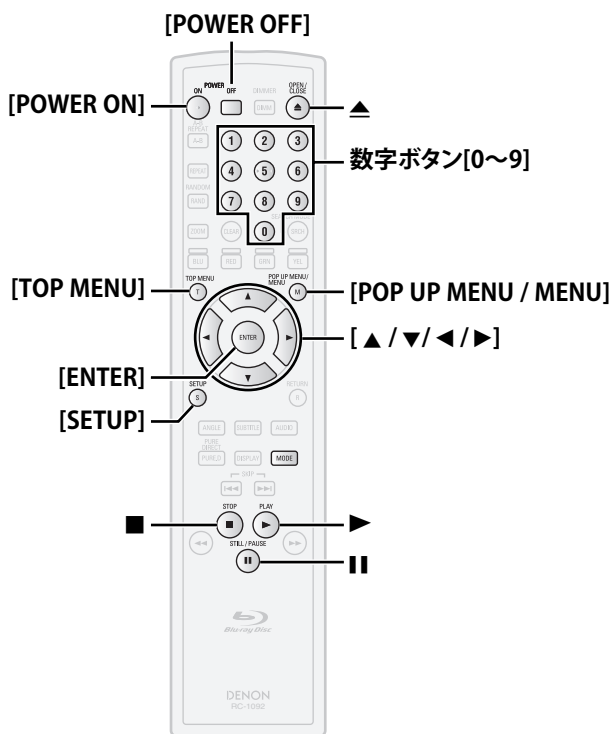
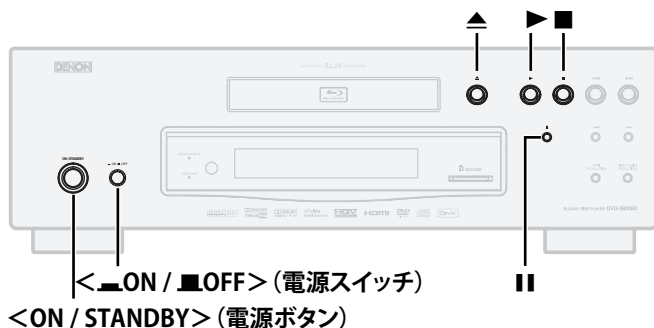
お持ちのオーディオシステムがアナログ2チャンネル音声入力端子付きの場合、本機に付属の音声ケーブルを使用して接続してください。

- アナログ2チャンネル音声のステレオ機器と接続する場合、2ch AUDIO OUT端子をご使用ください。7.1ch AUDIO OUT端子のFL、FR端子をご使用の場合は、セットアップメニューの“CUSTOM”⇨“[スピーカー]”⇨“7.1ch Audio Out”を“2 Channel”に設定してください。
- マルチチャンネルで収録されているソフトでは、2チャンネルにダウンミックスされたアナログ音声を出力します。（ダウンミックスが禁止されているソースの場合は、FL/FRの信号のみを出力します。）

電源コードの接続

付属の電源コードを本機に接続し、プラグをコンセントに差し込んでください。

ご注意

電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。

- すべての接続が正しいか確認したあと、テレビの電源を入れ、映像入力を本機の映像が見れるように切り換えてください。

基本操作のしかた

【操作説明のボタン名について】

＜　＞：本体のボタン
[　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

本機の電源を入れる

1 ＜▬ON /■OFF＞を押す。

※　スタンバイ状態になり、電源表示が赤色に点灯します。

2 ＜ON / STANDBY＞または[POWER ON]を押す。

※　電源入状態になると電源表示は緑色に点灯します。
- ディスクが入っていないときは、ディスプレイに"NO DISC"を表示します。

❑ スタンバイ状態にするとき：
[POWER OFF]またはもう一度＜ON / STANDBY＞を押す。

❑ 電源を切るとき：
＜▬ON / ■OFF＞を押す。

ご注意
スタンバイ状態は微量な電力を消費します。すべての電力を完全に遮断するには、**＜▬ON / ■OFF＞**を押してください。

ディスクを再生する

1 ▲ を押し、ディスクトレイにディスクを載せる。

※　ディスクの入れかたは、7ページを参照してください。

❑ ディスクトレイを閉じるとき：
もう一度 ▲ を押す。
- ディスプレイに"LOADING"を表示し、ディスクの読み込みが始まります。ディスクによっては、自動的に再生が始まるものもあります。

2 ▶ を押す。

- ディスプレイの"▷"表示が点灯し、再生を始めます。

- 本機の動作中にテレビ画面の右上に""（禁止マーク）が表示されることがあります。禁止されている操作が本機あるいはディスクに対して行われていることを警告するためのものです。
- ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。詳しくはそれぞれのディスクの説明書をご覧ください。
- 2層ディスクの場合、レイヤーの変わり目で一瞬画像が静止することがありますが、故障ではありません。

再生を停止する

■ を押す。

- 再生が止まり、壁紙を表示します。

※　セットアップメニューの"CUSTOM" ⇨ "Other" ⇨ "Auto Power Off" を"On"に設定している場合、一時停止または停止状態で30分経過すると自動的に本体の電源が切れ、スタンバイ状態になります。☞ 36ページ

❑ レジューム機能について：

再生中に ■ を押すと、止めた位置を記憶します（ディスプレイの"▷"表示が点滅）。
その後 ▶ を押すと、止めたところから再生を始めます。
ディスクトレイを開けるか、再生の停止中にもう一度 ■ を押すとレジューム機能は解除されます。

- レジューム機能は、再生中にディスプレイに経過時間が表示されるディスクで働きます。
- BD-J対応ディスクを再生中には、レジューム機能はご利用になれません。
- メニューの再生中はレジューム機能は働きません。
- MP3、WMA、JPEGおよびピクチャーCDの再生時は、停止したファイルの先頭から再生します。
- スタンバイ状態にしてもレジューム情報は消えません。ただし、セットアップメニューの"CUSTOM" ⇨ "Other" ⇨ "Media Select"を"Disc"から"SD Memory"に切り換えたり、電源スイッチで電源を切ったり、電源プラグを抜くとレジューム情報は消えます。

再生を一時停止する

❚❚ を押す。

- "❚❚"表示が点灯し、一時停止します。

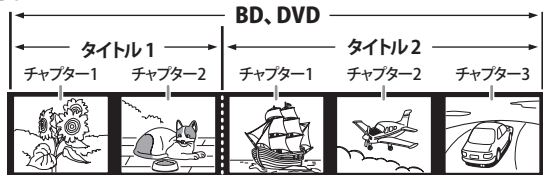
❑ 再び再生するとき：

▶ を押す。

- 一時停止中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、[SETUP]を押し、セットアップメニューの"CUSTOM" ⇨ "▭" ⇨ "Still Mode"で"Field"に切り換えてください。☞ 33ページ

BD、DVDについて

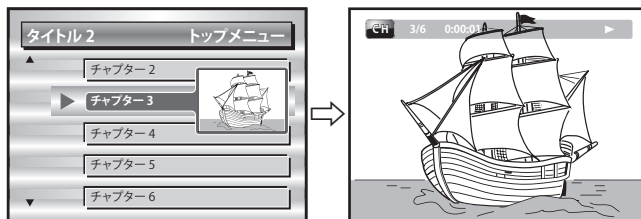
タイトル、チャプター：
BD、DVDは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

例えば...

BD、DVDを再生する

BD、DVDにはメニュー画面を表示するディスクがあります。
見たい項目を選んでから再生を始めてください。

1 **[▲/▼/◀/▶] で見たい項目を選ぶ。**

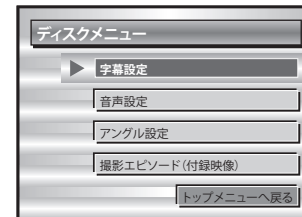
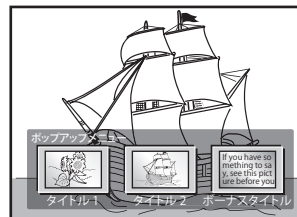
2 **[ENTER] または ▶ を押す。**

- 再生を始めます。

【例】“チャプター3” を選択したとき

- DVD再生中は [**TOP MENU**] または [**POP UP MENU / MENU**] を押すとメニュー画面に戻すことができます。
- メニューのつづきがある場合は[▲/▼/◀/▶] を押すとつづきのメニューを表示します。

ディスクに記録されているメニューを使う

複数のタイトルが入っているBD、DVDは、「トップメニュー」からお好みのタイトルを選択し再生することができます。
DVDでは、「ディスクメニュー」と呼ばれる特別なメニューが用意されているものもあります。
またBDでは、映像の再生中に前面に表示され、いろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

【例】トップメニュー

【例】ディスクメニュー

【例】ポップアップメニュー

❑ トップメニューを使うとき：

1 **再生中に[TOP MENU] を押す。**

- トップメニューが表示されます。

2 **[▲/▼/◀/▶] または数字ボタン[1～9]でお好みのタイトルを選ぶ。**

- **数字ボタン[1～9]**で選んだときは手順***3***は不要です。

3 **[ENTER] または ▶ を押す。**

- 再生を始めます。

❑ DVDのディスクメニューを使うとき：

1 **再生中に[POP UP MENU / MENU] を押す。**

- ディスクメニューが表示されます。

2 **[▲/▼/◀/▶] または数字ボタン[1～9]でお好みのタイトルを選ぶ。**

- **数字ボタン[1～9]**で選んだときは手順***3***は不要です。

3 **[ENTER] または ▶ を押す。**

- 再生を始めます。

❑ BDのポップアップメニューを使うとき：

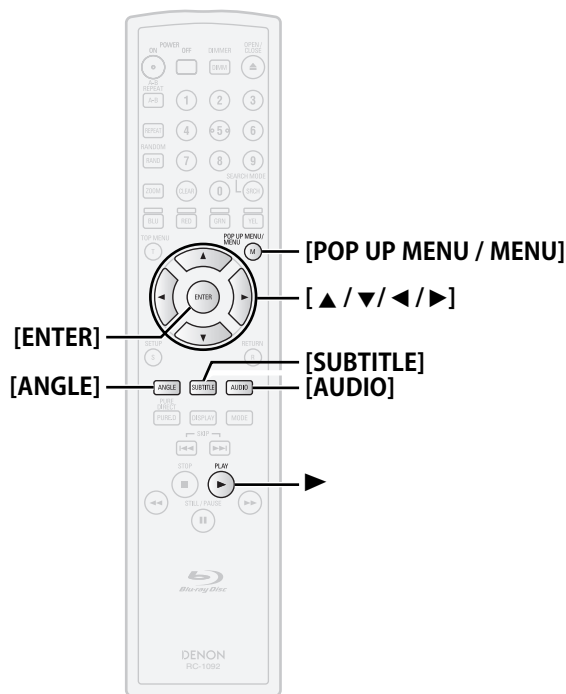
1 **再生中に[POP UP MENU / MENU] を押す。**

- ポップアップメニューが表示されます。

2 **[▲/▼/◀/▶] でお好みのタイトルを選ぶ。**

3 **[ENTER] または ▶ を押す。**

- 再生を始めます。

[POP UP MENU / MENU]
[▲/▼/◀/▶]
[ENTER]
[SUBTITLE]
[ANGLE]
[AUDIO]
▶

【操作説明のボタン名について】
＜　＞：本体のボタン
[　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

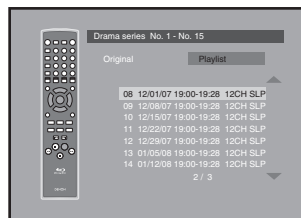
BDAVモードやVRモードで記録されたディスクを再生する

BDAVモードで記録されたBD-R/-REディスクやVRモードで記録されたDVD-R/-RWディスクにプレイリストを設定しているときは、“Original”（オリジナル）または“Playlist”（プレイリスト）を選んで再生することができます。

1 再生の停止中に[POP UP MENU / MENU]を押す。
- タイトルリストが表示されます。

2 [◀/▶]または[ENTER]で“Original”（オリジナル）または“Playlist”（プレイリスト）を選ぶ。

3 [▲/▼]でお好みのタイトルを選ぶ。

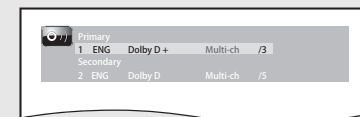
4 [ENTER]または▶を押す。
- 再生を始めます。

【例】“プレイリスト”を選択したとき

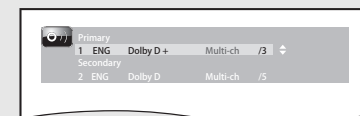
- BDAVモードやVRモードは、各モードに対応しているディスクを使ってプログラム編集などを行う、BD/DVDレコーダーならではの機能を楽しむ記録フォーマットです。
- BD/DVDレコーダーで録画したディスクの場合、録画して作られたタイトル（番組）をオリジナルと呼びます。
- オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。プレイリストが作成されていないディスクでは、オリジナルのみを表示します。
- ファイナライズ（クローズ）されていないBD-Rディスクは再生できないことがあります。
- ファイナライズされていないDVD-R/-RWディスクは再生できません。
- タイトルリスト画面は記録したDVDレコーダーやディスクによって異なります。
- ディスク名、タイトル名は英数字で最大各28文字まで表示できます。ひらがな、カタカナ、漢字や認識されない記号などの文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、英数字であっても記録方式によっては＊（アスタリスク）で表示される場合があります。
- オリジナルとプレイリストを切り換えるとレジューム情報は解除されます。

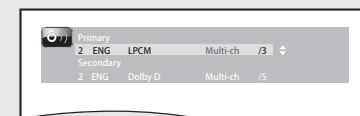
音声を切り換える（マルチ音声機能）

音声に複数の言語が記録されているBDの再生中に、音声を切り換えることができます。ピクチャー・イン・ピクチャーのBDでは、インタラクティブオーディオやコメンタリー音声などの、サブトラックの音声を“Secondary”で設定することができます。

❑ BDの第1音声/第2音声を選ぶ：

1 再生中に[AUDIO]を押す。

- 現在再生中の音声番号を表示します。

2 第1音声を切り換えるには、[▲/▼]で“Primary”を選び、[ENTER]を押す。第2音声を切り換えるには、[▲/▼]で“Secondary”を選び、[ENTER]を押す。

- 複数の音声が収録されている場合は“⇳”が表示されます。
- “BD Audio Mode”を“HD Audio Output”にしている場合、“Secondary”の音声は出力されません。

3 [▲/▼]でお好みの音声言語を選ぶ。

- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。

- 音声が含まれていない場合は、“Not Available”を表示します。
- ディスクの音声に複数の言語が入っている場合にのみ有効です。
- ディスクによっては、音声に複数の言語が入っていても**[AUDIO]**が働かず、ディスクメニュー上で選べる場合があります。操作方法については、ディスクの説明書をお読みください。
- “Secondary”を設定してサブトラックの音声を楽しむためには、必ず“BD Audio Mode”を“Mix Audio Output”に設定してください。☞ **34**ページ
- BDによっては、ピクチャー・イン・ピクチャーが切でも、第2音声のみを出力する場合があります。

❏ DVD、音楽用CD、DivX®ファイルの音声を選ぶ：

1 再生中に[AUDIO]を押す。

【例】DVDを挿入したとき

- 現在再生中の音声番号を表示します。

2 DVDの場合は、[▲/▼]でお好みの音声を選ぶ。

音楽用CDまたはDivX®ファイルの場合は、[▲/▼]でお好みの音声モードを選ぶ。

【例】音楽用CDを挿入したとき

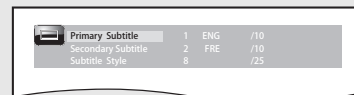
- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。

- 二ヵ国語（二重音声）で記録されたBDAVモードのBD-R/-REやVRモードのDVD-R/-RWでは、“1. Main”（主音声）、“1. Sub”（副音声）または“1. Main/Sub”（主音声＋副音声）に切り換えることができます。
- 音楽用CDの音声モードでは、“Stereo”（ステレオ音声）、“L-ch”（左チャンネル）または“R-ch”（右チャンネル）に切り換えることができます。
- DivX®ファイルでは、“MP2”、“MP3”または“Dolby D”（ドルビーデジタル）（音声形式）と収録されている音声モード数のみ表示します。それ以外の音声では、“- - -”が表示されます。
- DTS-CD（5.1音楽ディスク）は、音声モードを切り換えることはできません。
- ダイアログスピード再生中は、音声の切換はできません。☞ 22ページ
- [▲/▼]を数回押しても希望する言語の音声が表示されないときは、その音声がディスクに含まれていません。
- ディスクトレイを開けたり、電源スイッチで電源を切ると音声の設定が解除され、初期設定に戻ります。

字幕や字幕スタイルを切り換える（マルチ字幕機能）

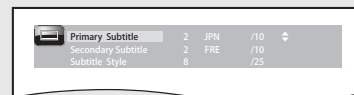
字幕に複数の言語が記録されているBD、DVD、またはDivX®ファイルの再生中に、字幕を切り換えることができます。
BDでは表示される字幕のスタイルも切り換えることができます。

❏ BDの第1字幕/第2字幕や字幕スタイルを選ぶ：

1 再生中に[SUBTITLE]を押す。

- 現在再生中の字幕番号を表示します。

2 [▲/▼]で“Primary Subtitle”（第1字幕）または“Secondary Subtitle”（第2字幕）または“Subtitle Style”（字幕スタイル）を選び、[ENTER]を押す。

- 複数の字幕が収録されている場合は“”が表示されます。

3 [▲/▼]でお好みの字幕言語または字幕スタイルを選ぶ。

- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。

- ディスクの字幕に複数の言語または字幕スタイルが入っている場合にのみ有効です。
- ディスクによっては、字幕に複数の言語が入っていても[SUBTITLE]が働かず、ディスクメニュー上で選べる場合があります。操作方法については、ディスクの説明書をお読みください。
- 字幕や字幕スタイルが含まれていない場合は、“Not Available”を表示します。
- [▲/▼]を数回押しても希望する言語の字幕が表示されないときは、その字幕がディスクに含まれていません。

❏ DVDやDivX®ファイルの字幕を選ぶ：

1 再生中に[SUBTITLE]を押す。

- 現在再生中の字幕番号を表示します。

2 [▲/▼]でお好みの字幕を選ぶ。

- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。

- DivX®ファイルでは、現在再生中の字幕番号と収録されている字幕数のみを表示し、言語は表示されません。

アングル（角度）を切り換える（マルチアングル機能）

複数のカメラアングルによる映像が記録されているBD、またはDVDの再生中に、アングルを切り換えることができます。

1 再生中に[ANGLE]を押す。

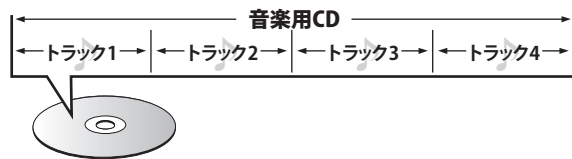
- 現在再生中のアングル番号を表示します。

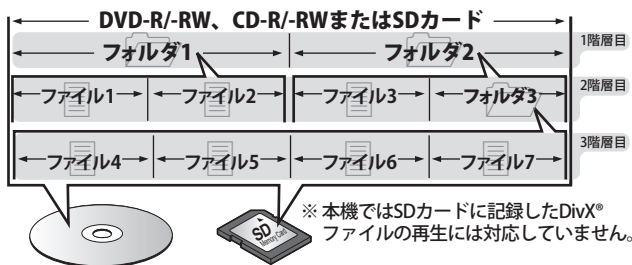
2 [▲/▼]でお好みのアングルを選ぶ。

- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。

- セットアップメニューの“CUSTOM”⇨“Other”⇨“Angle Icon”を“On”にしている場合、複数のカメラアングルによる映像が記録されたシーンでは“ ”がテレビ画面右上に表示されます。☞ 36ページ

音楽用CDについて

トラック：
音楽用CDは、楽曲ごとなどのいくつかの区切り（トラック）に分けられています。この区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をトラック番号と呼びます。

MP3、JPEG、WMA、DivX®について

フォルダ、ファイル：
DVD-R/-RW、CD-R/-RWやSDカードに記録されたMP3やJPEG、WMA、DivX®ファイルは、いくつかの大きな区切り（フォルダ）と小さな区切り（ファイル）に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は、9階層（DVD-R/-RWまたはSDカード）または8階層（CD-R/-RW）まで認識することができます。

❑ MP3をDVD-R/-RW、CD-R/-RW、SDカードで聴くには：

インターネット上には、MP3形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトの指示にしたがって音楽をダウンロードし、DVD-R/-RW、CD-R/-RWに書き込めば、本機で再生することができます。
記録媒体がSDカードの場合は、直接カードを本機に読み込ませて聴くことができます。

❑ JPEGをDVD-R/-RW、CD-R/-RW、SDカードで見るには：

デジタルスチルカメラなどで撮影した写真データをお持ちのパソコンなどを経由させ、DVD-R/-RW、CD-R/-RW、SDカードに記録したり、お近くのカメラ販売店で取り扱っている「ピクチャーCD」としてCD-ROMに収めたりしたJPEG形式ファイルの再生ができます。デジタルスチルカメラの記録媒体がSDカードの場合は、直接カードを本機に読み込ませて見ることができます。

❑ WMAをDVD-R/-RW、CD-R/-RW、SDカードで聴くには：

本機はWMA（Windows Media™ Audio）※形式の音声圧縮フォーマットで記録されたDVD-R/-RW、CD-R/-RWの音楽ファイルの再生ができます。
記録媒体がSDカードの場合は、直接カードを本機に読み込ませて聴くこともできます。

※ WMA（Windows Media™ Audio）は米国マイクロソフト社の開発したオーディオコーデックです。

❑ DivX®をDVD-R/-RW、CD-R/-RWで楽しむには：

DivX®の公式サイトから、様々なDivX®形式の動画ファイルをダウンロードできます。そのサイトの指示にしたがってDivX®ファイルをダウンロードし、DVD-R/-RW、CD-R/-RWに書き込めば、本機で再生することができます。SDカードに記録したDivX®ファイルの再生には対応していません。

再生可能なMP3、WMAファイル	
サンプリング周波数	44.1 kHz または 48 kHz
ビットレート	MP3：112 kbps ～ 320 kbps WMA：48 kbps ～ 192 kbps
音声タイプ	MP3： MPEG1オーディオレイヤー3 WMA：WMAバージョン9
フォーマット	ISO9660 Level1/Level2、Joliet方式

再生可能なJPEGファイル	
画像サイズ	最大：・2,560 × 1,900ピクセル（サブサンプリング 4:4:4） ・5,120 × 3,840ピクセル（サブサンプリング 4:2:2以下） 最小：32 × 32ピクセル
ファイルの容量	最大：12MB

再生可能なDivX®ファイル	
AVIコーデックファイル	DivX®3.x、DivX®4.x、DivX®5.x、DivX®6.0
映像サイズ	最大：・720 x 480 ピクセル 毎秒30フレーム ・720 x 576 ピクセル 毎秒25フレーム
サンプリング周波数	8 kHz ～ 48 kHz
音声タイプ	MPEG1オーディオレイヤー3 (MP3)、 MPEG1オーディオレイヤー2、 ドルビーデジタル

- "File List"の表示を消すには［**POP UP MENU / MENU**］を押します。
- MP3ファイルやWMAファイルでは、指定した経過時間からの再生はできません。

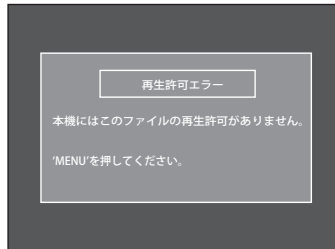
- 「.mp3（.MP3）」という拡張子が付いたファイルを「MP3ファイル」、「.jpg（.JPG）」という拡張子が付いたファイルを「JPEGファイル」、「.wma（.WMA）」という拡張子が付いたファイルを「WMAファイル」、「.avi」または「.divx（.DIVX）」という拡張子が付いたファイルを「DivX®ファイル」と呼びます。拡張子が「.avi（.AVI）」のファイルはMPEG4として認識されます。これら拡張子以外のファイルは一覧には表示されません。
- 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
※Exif (Exchangeable image file format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEITA（Japan Electronics and Information Technology Industries Association）によって制定されたものです。
- メディアによって表示できるディスクやSDカード、フォルダの階層は異なります。DVD-R/-RWまたはSDカードは9階層まで、CD-R/-RWでは8階層まで認識できます。
- 本機では、DVD-R/-RW、SDカードは999フォルダ、9999ファイルまで、CD-R/-RWでは255フォルダ、999ファイルまで認識できますが、構成によっては、記述の数値まで表示しない場合があります。
- 記録したときの条件によっては、一覧に表示されているフォルダやファイルでも再生できないことがあります。
- DVD-R/-RW、CD-R/-RWでは、ディスク名、フォルダ名、ファイル名は英数字で各28文字まで、SDカードでは、カード名、フォルダ名、ファイル名は英数字で各8文字まで表示できます。ひらがな、カタカナ、漢字や認識されない記号などの文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、英数字であっても記録方式によっては＊（アスタリスク）で表示される場合があります。
- プログレッシブ形式で記録されたJPEG形式の画像は再生できません。
- 高解像度で記録された場合など、JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。

❑ DivX®とは：

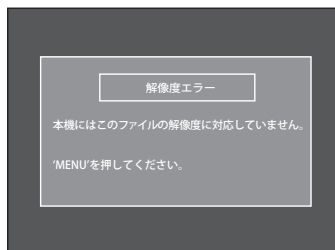
DivX, Inc.のDivX®ビデオコーディング方式によるデジタル映像圧縮技術です。あらゆる機器に対応したこの技術を用いることで、膨大な容量の動画データを画質を損なうことなく、インターネットでダウンロードできる非常に小さい容量にまで圧縮することが可能となります。
DivX®についての詳細は、http://www.divx.comをご覧ください。

- 容量が大きいファイルでは、ディスク挿入後、▶を押しても、再生が始まるまでに20秒程度かかる場合があります。
- 高いビットレートで記録されたファイルを再生したときに、画像が乱れたり途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機では、DivX®の承認に基づいた技術を採用しておりますが、ファイルの特性やビットレート、音声設定の形式などにより、すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- DivX®ファイルによっては、ディスクの構成や特性、オーサリングソフトや、記録したときの条件などにより再生できないことがあります。
- 容量が2GBを超えるDivX®ファイルの再生はできません。
- 本機が対応していない映像サイズのDivX®ファイルを再生すると、再生を停止し、警告メッセージを表示します。
- 本機では、音楽用CDを第1セッションに、MP3とJPEGファイルを第2セッションに記録したような種類の異なるマルチセッションディスクにDivX®ファイルの書き込みを行ったディスクの再生はできません。

- DivX®の公式サイトにあるDivX® Video-On-Demand（VOD）サービスよりDivX®ファイルを新規で購入またはレンタルするたびに、本機の登録番号が必要です。詳しくは「DivX (R) VOD」をご覧ください。☞ **36**ページ

- 本機の登録番号とは異なる番号で登録されたDivX® VODファイルの再生はできません。［**POP UP MENU / MENU**］を押して、再生可能なファイルを選び直してください。

- DivX® VODファイルによっては、再生回数に制限があるものがあります。
  その場合、DivX® VODの表示画面に再生可能回数が表示されます。
  再生する場合は、[◀ / ▶]で"はい"を、再生したくない場合は"いいえ"を選び、［**ENTER**］を押してください。

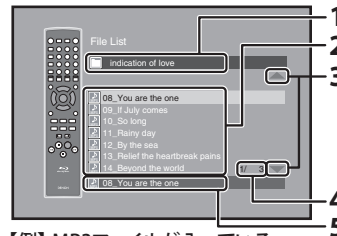
- 再生可能期間が超過すると、そのDivX® VODファイルは再生することができません。［**POP UP MENU / MENU**］を押して、再生可能なファイルを選び直してください。

- 本機が対応していない解像度のDivX®ファイルの再生はできません。
  映像のサイズが「720x480ピクセル毎秒30フレーム」または「720x576ピクセル毎秒25フレーム」以下のファイルのみ再生ができます。

MP3やJPEG、WMA、DivX®を再生する

1 MP3や、JPEG、WMA、DivX®形式の音楽や動画、画像ファイルを書き込んだディスクをセットする。

- 自動で"File List"が表示されます。表示されない場合は、[**POP UP MENU / MENU**]を押します。
- SDカードでの再生方法は「SDカードを再生する」をご覧ください。☞ **26**ページ
- **⏮ / ⏭**を押すとページを切り換えます。
- [◀]を押すと前の階層に戻ります。
- "File List"表示中は[**TOP MENU**]を押すと一番上の階層を表示します。

2 [▲/▼] で再生したいファイルを選び、[ENTER] または ▶を押す。

- 再生を始めます。
- ファイルがフォルダにある場合は、再生したいファイルを選ぶまで手順2を繰り返してください。

【例】MP3ファイルが入っているディスクを挿入したとき

1. 現在選択されているフォルダ名を表示します。
   一番上の階層では、ディスク名またはＳＤカード名を表示します。
2. 現在選択されているディスク、ＳＤカードまたはフォルダ内に含まれたフォルダまたはファイルの一覧を表示します。
3. 一覧に次（または前）のページがあることを示します。
4. 現在選択されているページと合計ページ数を表示します。
5. 一覧で選択されているフォルダ名またはファイル名を表示します。

❑ アイコンについて：

: フォルダ　: MP3ファイル　: JPEGファイル
: WMAファイル　: DivX®ファイル

DivX®とMP3やJPEG、WMAが混在したディスクを再生する

DivX®が含まれるDVD-R/-RWまたは、CD-R/-RWの中にMP3やJPEG、WMAが混在している場合、メディア選択画面が表示されます。

1 MP3や、JPEG、WMA、DivX®形式の音楽や動画、画像ファイルが混在したディスクをセットする。

- メディア選択画面が表示されます。

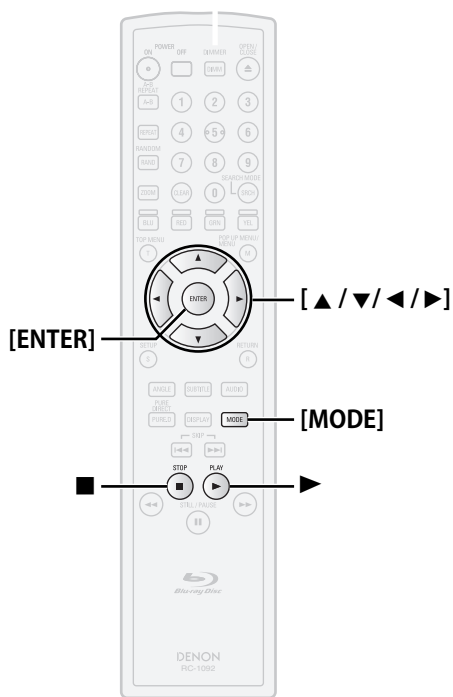
2 [▲/▼] で"Video"または"Audio & Picture"を選び、[ENTER] または ▶を押す。

- "Video"を選ぶと、自動でDivX®の"File List"が一覧が表示されます。"Audio & Picture"を選ぶと、自動でMP3、JPEG、WMAの"File List"が表示されます。表示されない場合は、[**POP UP MENU / MENU**]を押します。
- "File List"が表示されていない状態で、再生の停止中に[**TOP MENU**]を押すとメディア選択画面が表示されます。
- **⏮ / ⏭**を押すとページを切り換えます。
- [◀]を押すと前の階層に戻ります。
- "File List"表示中は[**TOP MENU**]を押すと一番上の階層を表示します。

3 [▲/▼] で再生したいファイルを選び、[ENTER] または ▶を押す。

- 再生を始めます。
- ファイルがフォルダにある場合は、再生したいファイルを選ぶまで手順3を繰り返してください。

▶ ■

<VIDEO NOISE REDUCTION>

BD音声モードを切り換える

ドルビーデジタルやDTSなどのマルチチャンネル音声が記録された、インタラクティブオーディオやコメンタリー音声などの第2音声を含むBDでそれらすべての音声を聴く場合や、マルチチャンネル音声のみをオリジナルの高音質のまま出力したい場合など、お好みに応じた音声モードに切り換えることができます。

1 再生の停止中に[MODE]を押す。

- 現在の設定状態が表示されます。

2 [▲/▼]で"Mix Audio Output"（音声ミックス出力）または"HD Audio Output"（HD音声出力）を選ぶ。

- 設定を完了し、約10秒間操作をしないと表示が消えます。

【BD音声モード設定】

- Mix Audio Output（音声ミックス出力）：インタラクティブオーディオや第2音声を含むBDを楽しむ場合に設定します。ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HDなどの信号はマルチリニアPCMに変換されます。
- HD Audio Output（HD音声出力）：ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HDなどの信号を高音質のままビットストリームで出力します。インタラクティブオーディオや第2音声は出力されません。

- 詳しくは「音声設定について」をご覧ください。☞ 14ページ
- セットアップメニューでも設定できます。☞ 34ページ

早見・早聞き再生する（ダイアログスピード）

約1.3倍速の音質で早見・早聞き再生ができます。ドルビーデジタル方式で記録されたディスクでのみ動作します。

1 再生中に、（ダイアログスピード）設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。

- 現在の設定状態が表示されます。

2 [ENTER]または[◀/▶]で設定を切り換える。

【ダイアログスピード設定】

- Off ：通常再生を行います。
- ♪♪ ：約1.3倍速に設定され、再生を始めます。

3 ▶を押すと通常の再生に戻ります。

- ■を押すと、ダイアログスピード再生は解除されます。
- ダイアログスピード再生中は、音声言語、ピクチャーコントロールの設定はできません。
- ダイアログスピード再生中は、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによっては働かない箇所があります。
- ダイアログスピード再生中の音声出力は、HDMI出力端子接続時はマルチリニアPCMまたは2chリニアPCMとなります。また、デジタル音声出力端子接続時は2chリニアPCM、アナログ7.1チャンネル音声出力端子接続時はアナログ2chの音声となります。

【操作説明のボタン名について】
＜　＞：本体のボタン
[　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

画質設定（ピクチャーコントロール）

お好みに合わせて、画質の設定が行えます。
設定した値は、最大5つまでメモリすることができます。

1 再生中に、PICT（画質）設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。

- 現在の設定状態が表示されます。

2 [▲/▼] で“Memory 1”から“Memory 5”までのお好みの設定番号を選び、[ENTER]を押す。

3 [▲/▼] で変更したい項目を選ぶ。

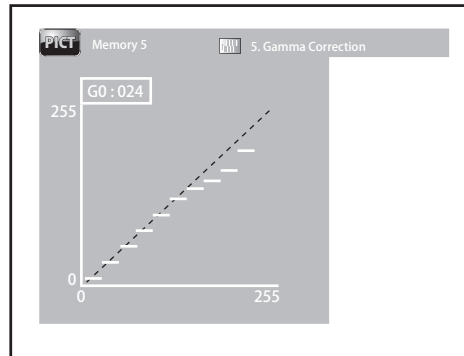
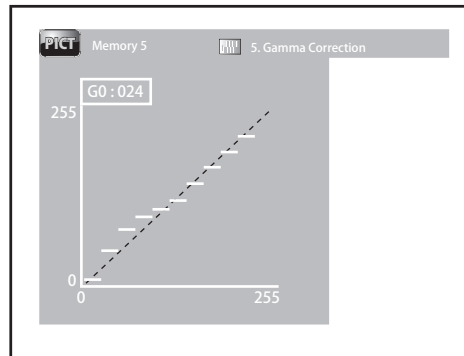
4 [ENTER]または[◀/▶]で設定を切り換える。

- 設定を完了し、約10秒間操作をしないと表示が消えます。
- 工場出荷時の状態（初期設定）に戻す場合は、[RETURN]を押し、[▲/▼] で“STD”を選択してください。

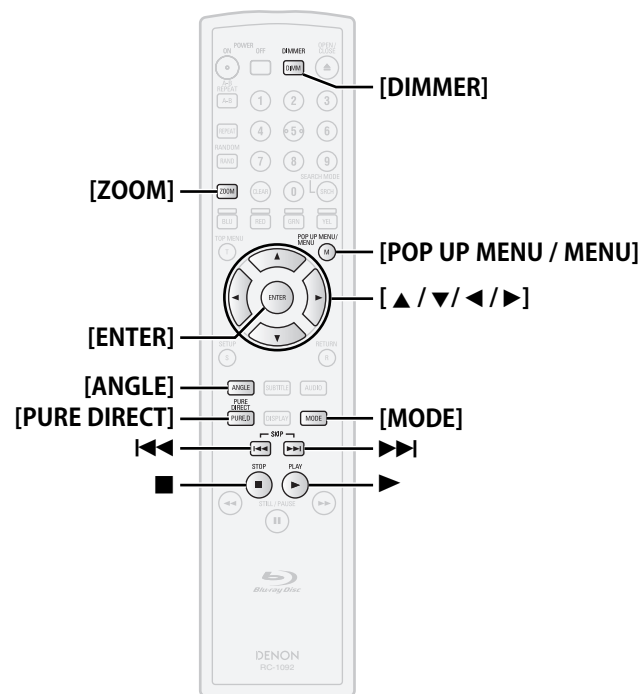
- ダイアログスピード再生中やピュアダイレクトが“Video Off”または“All Off”のときは、ピクチャーコントロール設定の変更はできません。
- ピクチャーコントロールの各設定値は、電源を切っても記憶しています。
- 映像出力端子およびS映像出力端子の接続時は、“Setup Level”を除き、ピクチャーコントロール設定は働きません。
- “4. DNR”は＜**VIDEO NOISE REDUCTION**＞を押しても設定できます。

❑ ガンマ補正について：

左の手順3で“5. Gamma Correction”を選択し、[ENTER]を押すと、[▲/▼/◀/▶]で設定を変更することができます。

下図グラフの例で示される水平軸は、ディスクに記録されている画像の明るさレベルを示します。垂直軸は、本機から出力されている画像の明るさレベルを示します。

- ディスク側の明るい部分を出力側の暗さに調節したとき、通常では見えづらい明るい部分が分かりやすい画像になります。

- ディスク側の暗い部分を出力側の明るさに調節したとき、通常では見えづらい暗い部分が分かりやすい画像になります。

設定項目	初期設定	その他の設定値
1. Contrast（コントラスト） 明暗部の対照を調整します。	0	-6 ～ +6
2. Brightness（ブライトネス） 輝度を調整します。	0	0 ～ +12
3. Enhancer＊[1]（エンハンサー） 輪郭を強調します。	0	0 ～ +11
4. DNR＊[1] （デジタルノイズリダクション） 画像全体のノイズを軽減します。	Off（切）	Off ～ +3
5. Gamma Correction （ガンマ補正） 画像全体の明るさをさらに細かく調整し、明暗部のバランスを補正できます。	G0= 24 / G1= 32 G2= 48 / G3= 64 G4= 80 / G5= 96 G6=128 / G7=160 G8=192 / G9=224	16 ～ 235
6. Sharpness Mid＊[2] （シャープネス/中域） 中域の周波数に対する輪郭や鮮明さを調整します。	0	-6 ～ +6
7. Sharpness High＊[1] （シャープネス/高域） 高域の周波数に対する輪郭や鮮明さを補正します。	0	-6 ～ +6
8. Hue＊[1]（色相補正） 緑色と赤色の色差バランスを補正します。	0	-6 ～ +6
9. White Level （ホワイトレベル） 白色レベルを補正します。	0	-5 ～ +5
10. Black Level＊[1] （ブラックレベル） 黒色レベルを補正します。	0	-5 ～ +5
11. Chroma Level （彩度補正） 色濃度を調整します。	0	-6 ～ +6
12. Setup Level （セットアップレベル） 暗い部分が明るくなるように調整します。	0 IRE （オリジナル画像）	7.5 IRE （暗部を明るくする）
13. H Position Control＊[1] （左右位置コントロール） 左右の画像表示位置を調整します。	0	-7 ～ +7
14. V Position Control＊[1] （上下位置コントロール） 上下の画像表示位置を調整します。	0	-7 ～ +7

＊[1] 色差映像出力（480iを除く）とHDMI出力に対して効果があります。
＊[2] HDMI出力には効果がありません。

【操作説明のボタン名について】
＜　＞：本体のボタン
[　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

バーチャルサラウンド設定

2チャンネルシステムによる仮想的なサラウンド効果を楽しむことができます。

1 BD、DVDの再生の停止中に、 （バーチャルサラウンド）設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。

● 現在の設定状態が表示されます。

2 [▲/▼] で設定を切り換える。

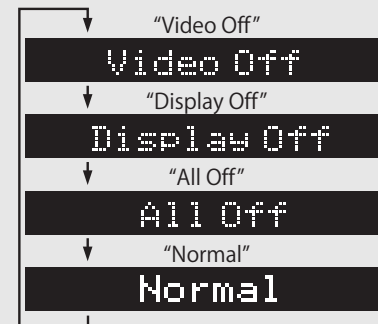
● 設定を完了し、約10秒間操作をしないと表示が消えます。

【バーチャルサラウンド設定】
● Off ：切
● 1 ：標準
● 2 ：強

● ディスクによってはサラウンド効果がでにくいものや、でないものがあります。
● 音声がひずむ場合は、ボリュームを下げるか、バーチャルサラウンド設定を"Off"にしてください。
● 音楽用CD、MP3、WMA、DivX®ファイルの再生では、バーチャルサラウンド機能は働きません。
● ダイアログスピード再生中は、バーチャルサラウンド機能は働きません。
● バーチャルサラウンドの音声出力は2chリニアPCMとなります。

ピュアダイレクト機能

映像信号などの出力を止め、アナログ音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

1 お好みの設定値が表示されるまで、繰り返し[PURE DIRECT]を押す。

● 設定を完了し、約3秒間操作をしないと表示が消えます。

【ピュアダイレクト機能】
● Video Off ：映像信号の出力を切にします。
● Display Off ：ディスプレイの表示を切にします。
● All Off ：映像信号の出力およびディスプレイの表示を切にします。
● Normal ：ピュアダイレクト機能を切にします。

2 ピュアダイレクトを中止するには、"Normal"が表示されるまで、繰り返し[PURE DIRECT]を押す。

Normal

● "Normal"を表示し、ディスプレイが再点灯します。

● セットアップメニュー表示中は**[PURE DIRECT]**は利用できません。
● "Display Off" または "All Off" では、フロントパネルの「Advanced AL24 ランプ」および「VIDEO NR ランプ」も消灯します。
● 本機をスタンバイ状態にすると、ピュアダイレクトの設定値は"Normal"に戻ります。

ディマー機能

本機のディスプレイは明るさを2段階または自動に切り換えることができます。“Auto”（自動）を選ぶと再生中は暗く、再生を停止すると明るくします。

お好みの明るさになるまで、[DIMMER]を繰り返し押す。

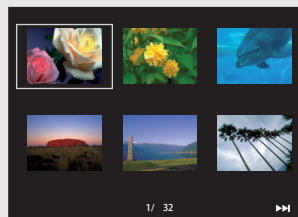
- 再生中の“Auto”では、ディスプレイが暗くなります。停止中の“Auto”では、ディスプレイが明るくなります。

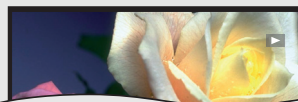
- リモコンで[DIMMER]を押した場合のディマー設定は記憶されません。一度スタンバイ状態にしたあと、再び電源を入れるとディスプレイは明るく表示されます。また、セットアップメニューの“CUSTOM”⇨“Other”⇨“Panel Display” ☞ 36ページ の設定値は本機の電源を切っても、設定を記憶しています。
- セットアップメニュー画面表示中は[DIMMER]は利用できません。

ピクチャーCDを再生する

本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDを再生することができます。これらのCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。

※ ピクチャーCDは、従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCD-ROMに書き込むサービスです。本機は7.0以前のバージョンに対応しています。ピクチャーCDに関する詳細はコダック（株）の現像サービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。

1 ピクチャーCDを挿入する。

- サムネイル画面（画像一覧）が自動で表示されます。
- 画像ファイルが6つ以上ある場合は、画面右下に次のページを示す“▷▷|”（最終ページを除く）、2ページ目以降は画面左下に前のページを示す“|◁◁”（1ページ目を除く）が表示されます。|◀◀ / ▶▶|を押すとページを切り換えます。
- 現在のファイル番号と総ファイル数は中央下部に表示されます。
- すべてのメニュー項目が表示されるまで時間がかかることがあります。

2 [▲/▼/◀/▶]で見たい画像を選び、[ENTER]または▶を押す。

- 選択された画像から再生が始まります。画像はセットアップメニューの“Slide Show”で設定された時間、“5sec”（5秒）または“10sec”（10秒）で表示され、次の画像に移ります。
- 画像を表示しているときは、[ANGLE]を押すごとに時計回りに90度ずつ画像が回転します。

- ピクチャーCDの再生中に[MODE]を繰り返し押すと、「スライド効果設定」と「画像サイズ設定」が設定できます。☞ 26ページ
- セットアップメニューの“CUSTOM”⇨“Other”⇨“Slide Show”で設定された時間が、“5sec”（5秒）または“10sec”（10秒）であっても、ファイルの容量が大きい場合、表示時間が長くなる場合があります。
- サムネイル画面を表示する場合は、■を押して再生を一旦停止してから、[POP UP MENU / MENU]を押してください。

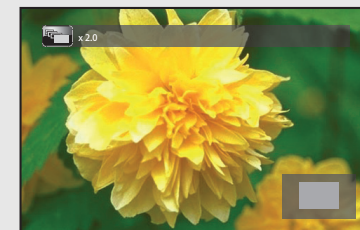
ズーム再生する（DVD、JPEG、DivX®のみ）

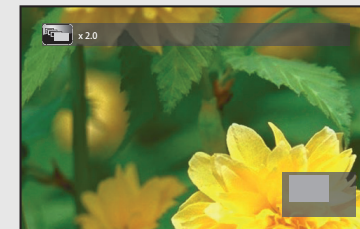
お好みにより画像を1.2倍から4倍まで拡大することができます。

1 再生中または一時停止中に[ZOOM]を押す。

【例】DVDを挿入したとき

- 現在の設定状態が表示されます。

2 [ZOOM]を繰り返し押すと、“x1.2”⇨“x1.5”⇨“x2.0”⇨“x4.0”⇨通常の画面⇨“x1.2”...の順に倍率が変わります。

- ズーム位置を示すナビゲーションが表示されます。
- JPEG、DivX®ファイルは“x4.0”には対応していません。

3 [▲/▼/◀/▶]で、ズームした画像を画面中央から上下左右に移動できます。

4 通常画面に戻るまで、繰り返し[ZOOM]を押す。

- セットアップメニュー画面でのズームはできません。
- ディスクによってはズーム再生ができないものもあります。
- JPEGファイルのズーム再生では、ナビゲーションは表示されません。
- DivX®ファイルでは、画像の大きさ（320×420より小さいサイズ）によってはズーム再生ができないものもあります。
- DivX®ファイルでは、画像の大きさによってはズーム倍率がスキップされる場合があります。

スライド効果を設定する

JPEGファイルの画像を見るときに、スライドショーで切り換わる画像移行の効果が設定できます。

1 再生中に、JPEG（スライド効果）設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。

- 現在の設定状態が表示されます。

2 [ENTER]または[◀/▶]で設定を切り換える。

【スライド効果設定】
- Cut In / Out ：完全な画像を一度に表示し、消去します。
- Fade In / Out：画像を除々に表示し、消去します。

JPEGファイルの画像サイズを調整する

接続するテレビによって、表示されるJPEGファイルの端が切れるような場合に、画像を少し小さくして表示します。

1 再生中に、（画像サイズ）設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。

- 現在の設定状態が表示されます。

2 [ENTER]または[◀/▶]で設定を切り換える。

【画像サイズ設定】
- Normal：100%の画面サイズで表示します。
- Small ：93%の画面サイズで表示します。

- 画像サイズの小さなファイルなどでは、"Small"にしても効果があらわれない場合があります。

再び見たい場面を記憶する（マーカー設定）

再び見たい場面や聴きたい箇所などにマークを付けておくと、そこから再生を始めることができます。

マークを付ける / マークを付けた箇所を呼び出す

1 再生中に、MKR（マーカー）設定画面が表示されるまで、繰り返し[SEARCH MODE]を押す。

- 現在の設定状態が表示されます。

2 [◀/▶]で、設定されていないお好みの番号を選ぶ。

- すでに設定されている番号はマーカー設定画面に"✓"が表示されています。

3 記憶させたい箇所で[ENTER]を押す。

- 記憶した再生中のタイトルまたはトラックの経過時間と"✓"を表示します。
- 設定を完了し、約30秒間操作をしないと表示が消えます。

4 マークした箇所から再生するには、[◀/▶]でお好みのマーカーを選び、[ENTER]を押す。

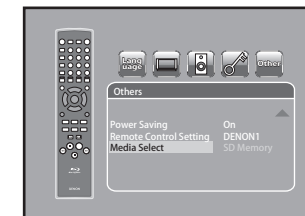
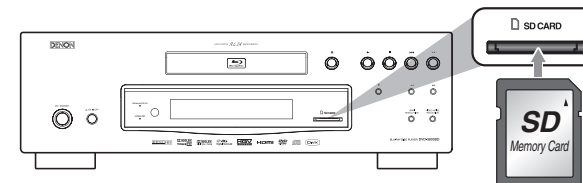
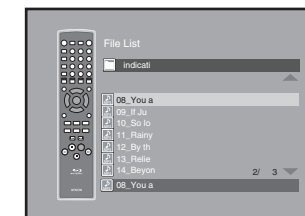
- 再生を始めます。

- マークした箇所によっては、字幕を表示しないことがあります。
- マーカーを消去したい場合は、[◀/▶]で消去したいマーカーを選び、**[CLEAR]**を押します。すべてのマーカーを消去する場合は、"AC"を選び、**[ENTER]**を押します。
- マーカー情報は電源を切るか、本機からディスクを取り出すまで保持されます。
- MP3やWMA、JPEG、DivX®ファイルのマーカー設定はできません。
- BDでは、タイトルをまたぐマーカー設定はできません。
- BDは、再生中のみマークした箇所から再生できます。

SDカードを再生する

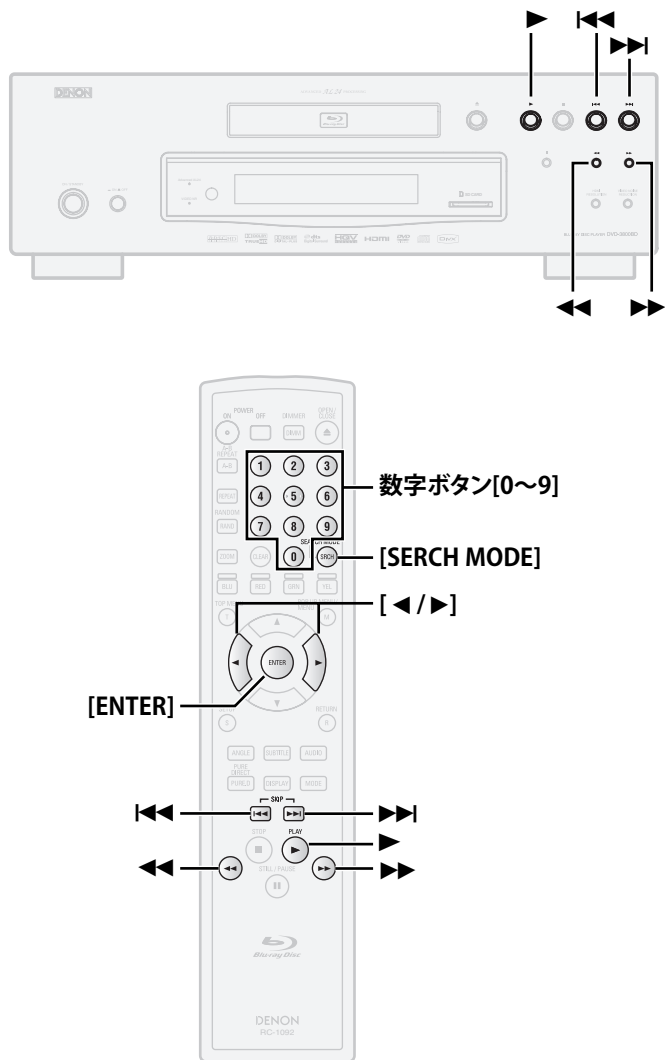
MP3やWMA、JPEGファイルの再生をDVD-R/-RWやCD-R/-RW同様に楽しむことができます。また、インターネットからダウンロードしたBDプロファイル1.1に対応しているディスクは、パソコンなどを経由してSDカードにデータをコピーして、BD用の様々な拡張機能が楽しめます。詳しくはBDの説明書をご覧ください。

❑ SDカードを本機で読み込むには：

1) 再生の停止中に、セットアップメニューの"CUSTOM"⇨"Other"⇨"Media Select"で"SD Memory"を選び、**[SETUP]**を押します。☞ 37ページ

2) SDカードのレーベル面を上にして水平に持ち、本体前面のスロットにカチッと音がするまで挿入します。

3) 自動で"File List"が表示されます。表示されない場合は、**[POP UP MENU / MENU]**を押します。

【例】MP3ファイルが入っているSDカードを挿入したとき

4) SDカードを取り出すときは、再生が停止されていることを必ず確認のうえ、軽く奥に押してから引き抜いてください。

- "Media Select"の設定を"SD Memory"を選択しているときは、本機でディスクの読み込みはできません。再びディスク再生を行う場合は、"Media Select"の設定を"Disc"に変更してください。
- 詳しくは「本機で使用できるSDカード」をご覧ください。☞ 7ページ

便利な操作のしかた

【操作説明のボタン名について】

< >：本体のボタン
[ ]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

早戻し/早送りをする

1 再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す。

- 押すたびに早戻し/早送りの速度を切り換えます。

2 ▶を押すと通常の再生に戻ります。

- BD、DVD、DivX®ファイルの早戻し、早送り中は音声はでません。
- 早戻し、早送りの速度は、BD、DVDでは5段階、音楽用CD、MP3、WMA、DivX®ファイルでは3段階まで切り換えできます。
- 音楽用CDのプログラム、ランダム再生中にトラックをまたいだり、MP3やWMAファイルをまたぐ早戻し、早送りはできません。
- DivX®ファイルによっては、早戻し、早送りができない場合があります。

頭出しをする

再生中に I◀◀ または ▶▶I を押す。

- 押した回数だけチャプターまたはトラック、ファイルを飛び越します。
- 戻し方向に1回押すと再生中のチャプターまたはトラック、ファイルの先頭に戻ります。

- ディスクによっては、タイトルや、トラック、ファイルをまたぐ頭出しが禁止されている場合があります。

数字ボタン[0〜9]で頭出しをする（サーチモード）

ディスクやファイルによってサーチモードの機能が異なります。
設定可能なサーチモードは下記の一覧をご覧ください。

サーチモード	再生するディスク・ファイル
チャプター、タイトルサーチ 指定したチャプターまたはタイトルを頭出しします。	BD、DVD
トラックサーチ 指定したトラックまたはファイルを頭出しします。	音楽用CD、MP3、WMA、JPEG、DivX®
タイムサーチ 指定した時間で頭出しします。	BD、DVD、音楽用CD、DivX®
マーカーサーチ マーカー設定した箇所で頭出しします。	BD、DVD、音楽用CD

1 再生中に[SEARCH MODE]を押す。

- サーチモード設定画面が表示されます。

2 お好みのサーチモードが表示されるまで、繰り返し[SEARCH MODE]を押す。

3 数字ボタン[0~9]で頭出ししたいチャプターやタイトル、トラック、ファイルまたは時間を入力する。マーカーサーチの場合は、[◀ / ▶] で、お好みのマーカーを選び、[ENTER] を押す。

- 希望した箇所の頭出しを行ったあと、再生を始めます。
- マーカー設定については「再び見たい場面を記憶する（マーカー設定）」をご覧ください。☞ 26ページ

- 記録されているチャプターやタイトル、トラック、ファイル数で操作が異なります。
  - ・1桁の場合：番号を直接入力してください。
  - ・2桁の場合：〈**例**〉 3の入力 **[0]**、**[3]**　26の入力 **[2]**、**[6]**
  - ・3桁の場合：〈**例**〉 3の入力 **[0]**、**[0]**、**[3]**　26の入力 **[0]**、**[2]**、**[6]**　138の入力 **[1]**、**[3]**、**[8]**
- プログラム再生中またはランダム再生中は、サーチモードでのトラック、ファイルの頭出しはできません。I◀◀ / ▶▶I で頭出しを行ってください。

- タイムサーチは、同一のタイトルまたはトラック内にのみ設定できます。チャプター内でのサーチはできません。
- BD、DVDでは、ディスクの合計時間を超えたタイムサーチはできません。
- 音楽用CD、DivX®ファイルでは、ディスク全体のタイムサーチはできません。
- MP3やWMA、JPEGファイルのタイムサーチはできません。
- MP3やWMA、JPEG、DivX®ファイルのマーカーサーチはできません。
- ディスクによっては、サーチモードが働かない場合があります。

コマ送り再生をする（BD、DVD、DivX®のみ）

1 一時停止中に ❚❚ を押す。

- 押すたびに、1コマずつ再生します。

2 ▶を押すと通常の再生に戻ります。

- 本機はコマ戻しはできません。
- コマ送り再生中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、[SETUP]を押し、セットアップメニューの“CUSTOM”⇨“ ”⇨“Still Mode”で“Field”に切り換えてください。☞ 33ページ

スロー再生をする

1 一時停止中に ▶▶ を押す。

- 押すたびにスロー再生の速度を3段階まで切り換えます。

2 ▶を押すと通常の再生に戻ります。

- スロー再生中は音声はでません。
- 逆スロー再生、音楽用CD、MP3、WMA、JPEGファイルのスロー再生はできません。
- スロー再生中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、[SETUP]を押し、セットアップメニューの“CUSTOM”⇨“ ”⇨“Still Mode”で“Field”に切り換えてください。☞ 33ページ

リピート再生をする

再生するディスクやファイルによってリピート再生の機能が異なります。設定可能なリピートモードは下記の一覧をご覧ください。

リピートモード	再生するディスク･ファイル
“Chapter”【チャプターリピート】 現在のチャプターを繰り返し再生します。	BD、DVD
“Title”【タイトルリピート】 現在のタイトルを繰り返し再生します。	BD、DVD
“Track”【トラックリピート】 現在のトラックまたはファイルを繰り返し再生します。	音楽用CD、MP3、WMA、JPEG、DivX®
“Group”【グループリピート】 現在のフォルダを繰り返し再生します。	MP3、WMA、JPEG、DivX®
“All”【オールリピート】 メディアに含まれるすべてのタイトル、トラックまたはファイルを繰り返し再生します。	BDAVモードのBD-R/-RE、VRモードのDVD-R/-RW、音楽用CD、MP3、WMA、JPEG、DivX®

1 再生中に[REPEAT]を押す。

- 現在の設定状態が表示されます。

2 お好みのリピートモードが表示されるまで、繰り返し[REPEAT]を押す。

- 設定を完了し、約3秒間操作をしないと表示が消えます。

3 通常の再生に戻すときは、“ Off”が表示されるまで、繰り返し[REPEAT]を押す。

- リピート再生中、ほかのタイトルやチャプター、トラック、フォルダ、ファイルをサーチするとリピート再生の設定は解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生ができないものがあります。
- ディスクによっては、リピート再生を設定しても、タイトルやチャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るものがあります。
- A-Bリピート再生中は、リピート再生はできません。

指定した2点間を繰り返し再生する（A-Bリピート再生）

1 再生中に[A-B REPEAT]を押す。

- 開始場所Aを指定します。
- ディスプレイに“A”表示が点灯します。
- 開始場所Aをキャンセルする場合は、[CLEAR]を押します。

2 もう一度、[A-B REPEAT]を押す。

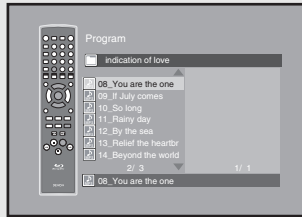
- 終了場所Bを指定し、A-B間の繰り返し再生を始めます。
- 本機のディスプレイに“-B”表示が点灯します。

3 通常の再生に戻すときは、“ Off”が表示されるまで、繰り返し[A-B REPEAT]を押す。

- A-Bリピート再生は、同一のタイトルまたはトラック内にのみ設定できます。
- A-Bリピート再生中、ほかのタイトルやチャプター、トラック、フォルダ、ファイルをサーチするとリピート再生の設定は解除されます。
- 開始場所Aのみを設定したままタイトル、トラックの終端まで再生された場合は、終端が自動的に終了場所Bに設定されます。
- 場面によっては、A-Bリピート再生ができないものがあります。
- ディスクによっては、リピート再生を設定しても、タイトルやチャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るものがあります。
- MP3やWMA、JPEGファイルのA-Bリピート再生はできません。
- リピート再生中は、A-Bリピート再生はできません。
- DivX®ファイルによっては、A-Bリピート再生ができない場合があります。

プログラム再生をする（音楽用CD、MP3、WMA、JPEGのみ）

音楽用CDおよびMP3、WMA、JPEGファイルを、トラック番号やファイル番号を予約して好きな順に再生できます。BD、DVD、DivX®ファイルのプログラム再生はできません。

1 再生の停止中に[MODE]を押す。

【例】MP3ファイルが入っているディスクを挿入したとき

- プログラム設定画面が表示されます。

2 [▲/▼]でお好みのトラック番号またはファイル番号を選び、[ENTER]を押す。

- 手順2でMP3やWMA、JPEGファイルがフォルダに入っている場合は、先に[▲/▼]でフォルダを選び、[ENTER]を押したあと、プログラムしたいファイルを選んでください。
- プログラムしたトラックまたはファイルを消去したい場合は、[CLEAR]を押すと最後に入力されたトラックまたはファイルから消去されます。
- すでに入力されたすべてのプログラムを消去する場合は、プログラムリスト末尾の"All Clear"を選び、[ENTER]を押してください。
- フォルダの階層を移動したい場合は、[◀/▶]を押します。
- プログラムリストに7トラックまたは7ファイル以上ある場合は、次（または前）のページを示す"▽"（または"△"）が表示されます。
- 入力したプログラムが、8トラックまたは8ファイル以上になると、登録画面に前（または次）のページを示す"⏮"（または"⏭"）が表示されます。ページを切り換えたい場合は、⏮/⏭を押します。

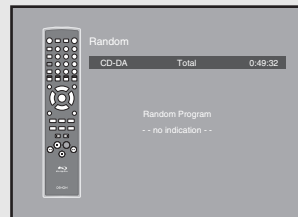
3 登録が完了したら▶を押す。

- プログラム再生を始めます。

- プログラム再生中は、ディスプレイに"PROG"および現在再生中のトラックまたはファイル番号を表示します。
- プログラム再生の登録時、ディスプレイには、現在選択されているフォルダ"F000（000任意のフォルダ番号）または"-0000"（0000は任意のファイル番号）が点滅します。
- プログラム再生中にプログラムの追加入力はできません。
- プログラム再生中は、サーチによる頭出しおよび、ランダム再生はできません。
- プログラム再生中に、現在再生されているトラックまたはファイルをリピート再生したい場合は、"🔁 Track"が表示されるまで、繰り返し[REPEAT]を押します。
- プログラム再生中に、現在プログラム登録されているすべてのトラックまたはファイルをリピート再生したい場合は、"🔁 All"が表示されるまで、繰り返し[REPEAT]を押します。
- プログラム再生中に、プログラムした次のトラックまたはファイルを再生するときは⏭を押してください。
- 99トラックまたは99ファイルまで登録できます。また、MP3やWMA、JPEGファイルを組み合わせた登録も可能です。
- プログラム再生中に■を押すと、次回の再生時には停止されたトラックまたはファイルの先頭から再生を始めます。
- プログラム再生中に■を2回押すと、プログラム画面が表示されます。
- ディスクトレイを開けたり、電源スイッチで電源を切るとプログラム再生の設定が解除されます。

ランダム再生をする（音楽用CD、MP3、WMA、JPEGのみ）

音楽用CDおよびMP3、WMA、JPEGファイルを、トラック単位またはファイル単位でランダム（順不同）に再生できます。BD、DVDはランダム再生できません。

1 再生の停止中に[RANDOM]を押す。

【例】音楽用CDを挿入したとき

- ランダム再生画面が表示されます。

2 ▶を押す。

- ランダム再生を始めます。

- ランダム再生中は、ディスプレイに"RAND"および現在再生中のトラックまたはファイル番号を表示します。
- ランダム再生中は、サーチによる頭出しおよび、プログラム再生はできません。また、前のトラックまたはファイルに戻ることはできません。
- ランダム再生中に、次のトラックまたはファイルを再生するときは⏭を押してください。
- ランダム再生中に■を押すと、次回の再生時には停止されたトラックまたはファイルの先頭から再生を始めます。
- ランダム再生中に■を2回押すと、ランダム再生画面に戻ります。解除したい場合は、[RANDOM]を押してランダム再生画面の表示を消してください。
- MP3、WMA、JPEGはランダム再生中のA-Bリピートはできません。
- ランダム再生中に、現在再生されているトラックまたはファイルをリピート再生したい場合は、"🔁 Track"が表示されるまで[REPEAT]を繰り返し押します。
- ランダム再生中に、現在再生されているすべてのトラックまたはファイルをリピート再生したい場合は、"🔁 All"が表示されるまで[REPEAT]を繰り返し押します。
- MP3やWMA、JPEGファイルが混在したディスクでは、すべてのファイルのランダム再生を行います。
- ディスクトレイを開けたり、電源スイッチで電源を切るとランダム再生の設定が解除されます。
- ディスクによっては、ランダム再生ができない場合があります。

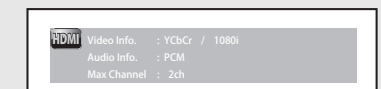
再生中の情報を見る（画面表示）

ディスクに関する情報（現在再生中のチャプターや再生経過時間など）をテレビ画面に表示させて、確認することができます。

1 再生中に[DISPLAY]を押す。

【例】DVDを挿入したとき

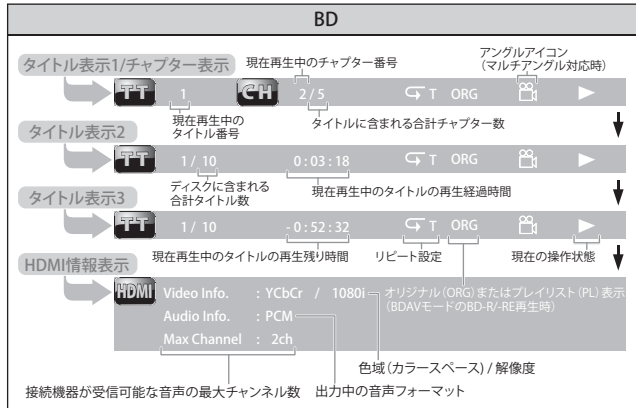
- 現在の再生状態が表示されます。

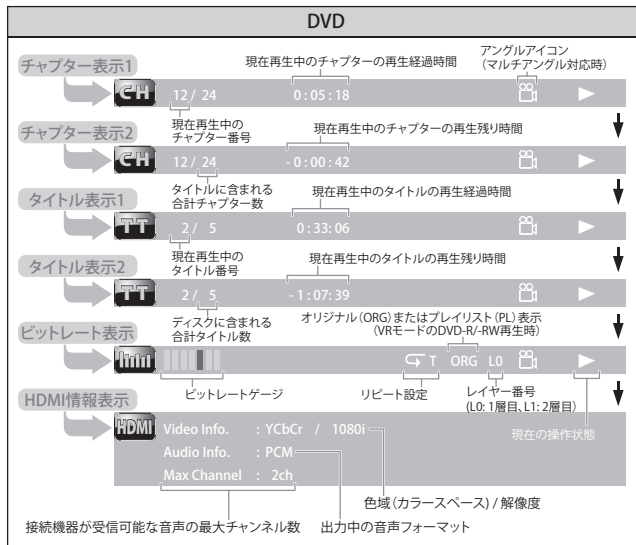
2 お好みの画面表示が表示されるまで、繰り返し[DISPLAY]を押す。

- 画面表示の詳細については、「画面表示の切り換わりかた」をご覧ください。☞ 30ページ

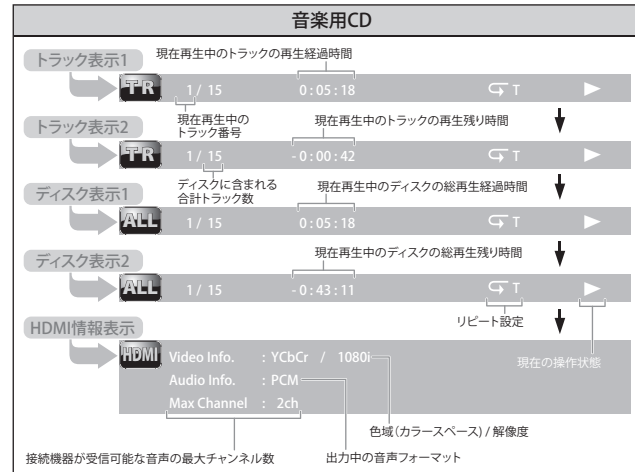
3 通常の再生に戻すときは、画面表示が消えるまで、繰り返し[DISPLAY]を押す。

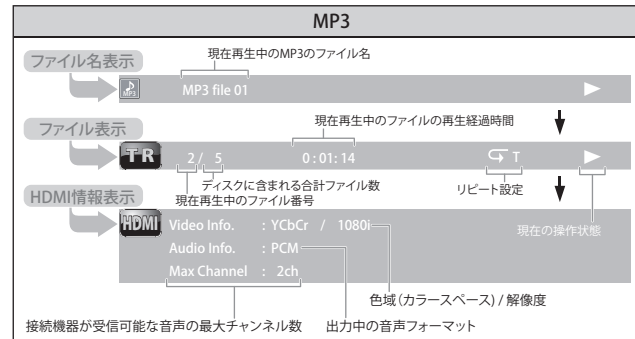
画面表示の切り換わりかた

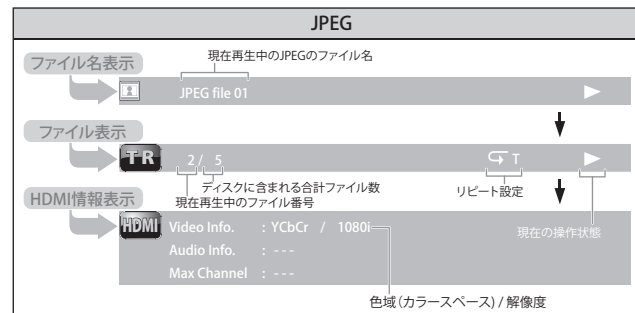
❏ BDの再生時：

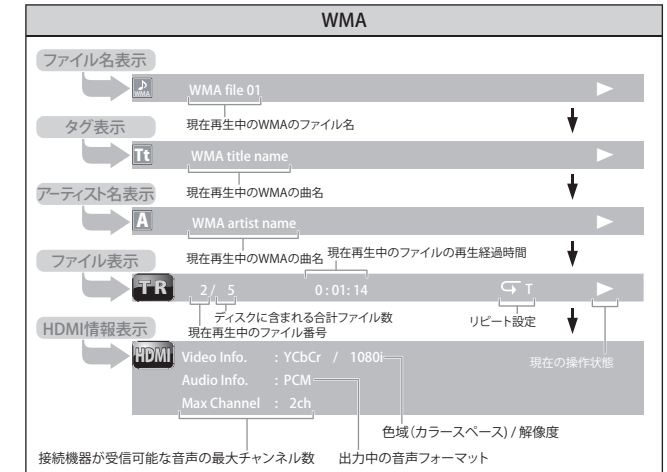
［**DISPLAY**］を押すたびに、下図の表示に切り換わります。

❏ DVDの再生時：

［**DISPLAY**］を押すたびに、下図の表示に切り換わります。

❏ 音楽用CDの再生時：

［**DISPLAY**］を押すたびに、下図の表示に切り換わります。

❏ MP3ファイルの再生時：

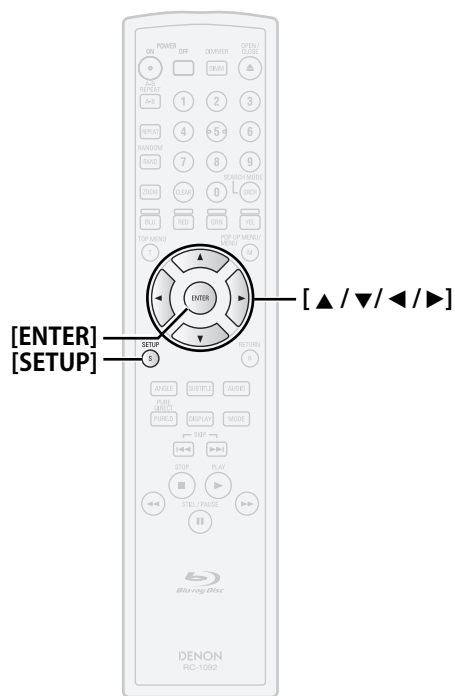
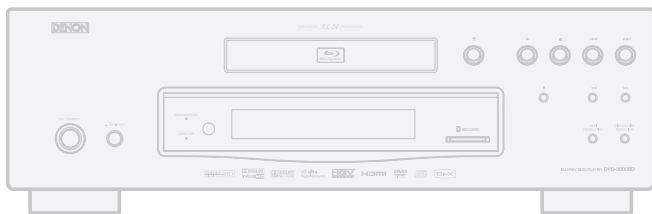
［**DISPLAY**］を押すたびに、下図の表示に切り換わります。

❏ JPEGファイルの再生時：

［**DISPLAY**］を押すたびに、下図の表示に切り換わります。

❏ WMAファイルの再生時：

［**DISPLAY**］を押すたびに、下図の表示に切り換わります。

❏ DivX®ファイルの再生時：

［**DISPLAY**］を押すたびに、下図の表示に切り換わります。

- HDMIケーブルを使った接続を行っていない場合は、HDMI情報表示の“Video Info.”、“Audio Info.”および“Max Channel”は、“---”が表示されます。

初期設定のしかた

【操作説明のボタン名について】

<　>: 本体のボタン
[　　]: リモコンのボタン
ボタン名のみ: 本体とリモコンのボタン

初期設定の操作のしかた（セットアップメニュー）

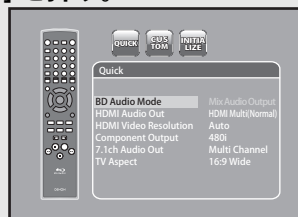
セットアップメニューでは、音声、映像、言語、その他の各種設定ができます。再生中の設定変更はできません。

クイックメニュー

よく使われる項目をカスタムメニューから抽出しています。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶] で“QUICK”を選び、[ENTER] を押す。

3 [▲/▼] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。

- “BD Audio Mode”については、☞ **34**ページをご覧ください。
- “HDMI Audio Out”については、☞ **34**ページをご覧ください。
- “HDMI Video Resolution”については、☞ **33**ページをご覧ください。
- “Component Output”については、☞ **33**ページをご覧ください。
- “7.1ch Audio Out”については、☞ **34**ページをご覧ください。
- “TV Aspect”については、☞ **32**ページをご覧ください。

4 [▲/▼] でお好みの設定値を選び、[ENTER] を押す。

- 設定値が2つの項目では、[ENTER] を押すたびに設定値が切り換わります。

5 [SETUP]を押し、設定を完了する。

カスタムメニュー

カスタム設定には、本機で設定できるすべての項目が含まれています。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶] で“CUSTOM”を選び、[ENTER] を押す。

3 [◀/▶] で設定したい項目を選び、[ENTER] を押す。

- “Language”については、☞ **32**ページをご覧ください。
- “Video”については、☞ **32-33**ページ をご覧ください。
- “Audio”については、☞ **34**ページをご覧ください。
- “Ratings”については、☞ **36**ページをご覧ください。
- “Others”については、☞ **36-37**ページ をご覧ください。

4 [▲/▼] でお好みの設定値を選び、[ENTER]を押す。

- 設定値が2つの項目では、[ENTER] を押すたびに設定値が切り換わります。

5 [SETUP]を押し、設定を完了する。

- 本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。

Language（言語設定）

設定項目	初期設定	その他の設定値
Dialog（音声言語） 音声言語を設定します。	**Original** （オリジナル）	**English**（英語） / **French**（フランス語） / **Spanish**（スペイン語） / **German**（ドイツ語） / **Italian**（イタリア語） / **Swedish**（スウェーデン語） / **Dutch**（オランダ語） / **Russian**（ロシア語） / **Chinese**（中国語） / **Japanese**（日本語） / **Korean**（韓国語） / **Danish**（デンマーク語） / **Finnish**（フィンランド語） / **Norwegian**（ノルウェー語） / **Icelandic**（アイスランド語） / **Hungarian**（ハンガリー語） / **Romanian**（ルーマニア語） / **Turkish**（トルコ語） / **Greek**（ギリシャ語） / **Irish**（アイルランド語） / **Portuguese**（ポルトガル語） / **Polish**（ポーランド語） / **Czech**（チェコ語） / **Slovak**（スロバキア語） / **Bulgarian**（ブルガリア語） / **Other**（その他の言語）
Subtitle（字幕言語） 字幕言語を設定します。	**Off**（切）	
Disc Menu（ディスクメニュー） ディスクメニュー画面の言語を設定します。	**Japanese** （日本語）	**English**（英語） / **French**（フランス語） / **Spanish**（スペイン語） / **German**（ドイツ語） / **Italian**（イタリア語） / **Swedish**（スウェーデン語） / **Dutch**（オランダ語） / **Russian**（ロシア語） / **Chinese**（中国語） / **Korean**（韓国語） / **Danish**（デンマーク語）/ **Finnish**（フィンランド語） / **Norwegian**（ノルウェー語） / **Icelandic**（アイスランド語） / **Hungarian**（ハンガリー語） / **Romanian**（ルーマニア語） / **Turkish**（トルコ語） / **Greek**（ギリシャ語） / **Irish**（アイルランド語） / **Portuguese**（ポルトガル語） / **Polish**（ポーランド語） / **Czech**（チェコ語） / **Slovak**（スロバキア語） / **Bulgarian**（ブルガリア語） / **Other**（その他の言語）

- “Dialog”、“Subtitle”、“Disc Menu”の各言語設定では、ディスクにその他の言語を含む場合は“Other”を選びます。「言語コード一覧」☞ **38**ページ を参照して、**数字ボタン[0～9]**で言語コードを入力してください。
- 字幕を表示させたくない場合は、“Subtitle”で“Off”を選んでください。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合もありあます。

Video（映像設定）

設定項目	初期設定	その他の設定値
TV Aspect（アスペクト比） 接続したテレビの画面と、視聴する映像サイズに応じて設定します。	**16:9 Wide**（16:9ワイド） ワイド画面のテレビに接続し16:9ワイドスクリーン映像の視聴時に自動的に横長のサイズで再生します。	**4:3 Pan & Scan**（4:3パンスキャン） 4:3のテレビに接続し16:9ワイドスクリーン映像の視聴時に画像の左右をカットし、4:3のサイズで再生します。 **4:3 Letter Box**（4:3レターボックス） 4:3のテレビに接続し16:9ワイドスクリーン映像の視聴時に上下に黒い帯のある画像で再生します。 **4:3 Squeeze Auto**（4:3自動スクィーズ） ワイド画面のテレビに接続し4:3映像または16:9ワイドスクリーン映像の視聴時に、4:3映像は比率を変えずに画面中央に、16:9映像は画面いっぱいに再生します。 **4:3 Squeeze On**（4:3スクィーズ オン） ワイド画面のテレビに接続したときに、映像サイズに関わらずワイド画面の中央に4:3の比率で再生します。
HDMI Select （HDMI映像信号出力形式） 接続したHDMI機器への映像信号出力形式を切り換えます。	**YCbCr** （色差映像信号） HDMI端子から色差形式（Y、Cb、Cr）の映像信号で出力します。	**RGB**（RGB映像信号） HDMI端子からRGB形式の映像信号で出力します。
HDMI RGB Setting （HDMI RGB画質設定） HDMI端子から出力されるデジタルRGB映像レンジ（データ範囲）を設定します。“HDMI Select”で“RGB”を選んだときにこの設定を行ってください。	**Normal**（ノーマル） 16（黒）～235（白）で出力します。	**Enhanced**（エンハンスト） 0（黒）～246（白）で出力します。ご使用のテレビによっては黒色が浮く場合があります。その際には、“Enhanced”にしてください。
HDMI Auto Format （HDMI解像度形式自動検出） “HDMI Video Resolution”で“Auto”を選んだときにこの設定を行ってください。	**Max**（マックス） 接続したHDMI機器に入力できる最大の解像度を検出し、HDMI出力解像度を自動で選びます。	**Panel**（パネル） 接続したHDMI機器のパネル画素数を検出し、HDMI出力解像度を自動で選びます。

- 表内に　　で示されている設定項目は“”で選ぶことができます。
- 本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。
- 色差映像出力で“Component Output”設定が“480i”に設定された場合、“TV Aspect”の“4:3 Squeeze On”や“4:3 Squeeze Auto”は働きません。
- “HDMI Select”を“YCbCr”に設定しても、接続したHDMI機器がY、Cb、Crに対応していない場合はRGBで出力されます。

Video（映像設定）つづき

設定項目	初期設定	その他の設定値
HDMI Video Resolution（HDMI映像出力解像度） 接続したHDMI機器が対応しているHDMI映像解像度に応じて設定します。	**Auto**（自動） 接続したHDMI機器に適したHDMI映像解像度を自動で選びます。	**480p**（480プログレッシブ） 480プログレッシブで出力します。
		720p（720プログレッシブ） 720プログレッシブで出力します。
		1080i（1080インターレース） 1080インターレースで出力します。
		1080p（1080プログレッシブ） 1080プログレッシブで出力します。
		1080p24（1080プログレッシブ24） 1080プログレッシブ24フレームで出力します。
HDMI Deep Color（HDMIディープカラー） 色深度（ディープカラー）を拡張して出力するときに設定します。	**Auto**（自動） 接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合、自動でHDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。	**Off**（切） HDMI端子からの映像信号はディープカラーで出力しません。
I/P Direct（I/Pダイレクト） I/Pコンバータを24フレームで変換する/しないを設定します。	**Off**（切） 1080プログレッシブ24フレームを60フレームに変換します。	**On**（入） 1080プログレッシブ24フレームの信号をそのまま出力します。
Component Output（色差映像出力解像度） 接続した機器が対応している色差映像解像度に応じて設定します。	**480i**（480インターレース） 480インターレースで出力します。	**480p**（480プログレッシブ） 480プログレッシブで出力します。
		720p（720プログレッシブ） 720プログレッシブで出力します。
		1080i（1080インターレース） 1080インターレースで出力します。

- テレビの1枚の画面のことを「フレーム」とよび、1枚の「フレーム」は「フィールド」とよばれる2枚の画面から作られています。“Still Mode”の“Auto”を選択しているときに静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。
- “HDMI Video Resolution”や“Component Out”の設定後、テレビ画面の映像がまったくでない、映像に悪い影響が生じるなどの症状がある場合は、本体前面の ▶ を5秒以上押してください。自動的に工場出荷時の状態（初期設定）に切り換わります。
- “HDMI Video Resolution”において、1080プログレッシブ 24フレームに対応していない機器と接続している場合は、“1080p24”に設定できません。
- “HDMI Video Resolution”を“1080p24”または、“I/P Direct”を“On”に設定していても、BDが1080プログレッシブ 24フレームで記録されていない場合やDVDでは、対応している解像度で出力されます。
- “HDMI Video Resolution”を“1080p”または“1080p24”に設定しているときは、“Compnent Output”は設定できません。
- BD再生では、“Compnent Output”を“480i”に設定した場合は、色差映像出力端子からは“480p”が出力されます。コピー禁止信号の入ったDVD再生では、“720p”以上に設定した場合、“480p”で出力されます。

設定項目	初期設定	その他の設定値
Progressive Mode（プログレッシブモード） 記録された素材に最適なプログレッシブ映像出力を設定します。	**Auto**（自動） 映画などの1秒間に24フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に適切なモードが選ばれます。	**Video1**（ビデオ1） 1秒間に60フレームで記録された、ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生をするときにこの設定を選びます。
		Video2（ビデオ2） ビデオ素材や1秒間に30フレームで撮影されたフィルム素材を再生をするときにこの設定を選びます。
Audio/Video Sync（音声/映像同期） 音声信号に合わせ、どの映像信号を同期させるかを設定します。	**HDMI**（HDMI） 同期させる映像信号がHDMI出力端子の場合はこの設定にします。	**Progressive**（プログレッシブ） 同期させる映像信号が色差映像出力端子（480p/720p/1080i）の場合はこの設定にします。
		Interlace（インターレース） 同期させる映像信号が色差映像出力端子（480i）、映像出力端子、またはS映像出力端子の場合はこの設定にします。
		Other（その他） HDMIおよび色差映像（プログレッシブ/インターレース）を同時に接続している場合はこの設定にします。音声信号はそれぞれの映像出力に最適なタイミングで出力され、同期はされません。
Still Mode（スチルモード） 一時停止時の画質を設定します。	**Auto**（自動） 表示する静止画の情報をもとに、“Field”または“Frame”のどちらかで表示されます。	**Field**（フィールド） “Auto”に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。“Field”を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなりますが、ブレを生じません。
		Frame（フレーム） 動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。“Frame”を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。
TV Active Area（画面作用範囲） 480インターレースの映像出力時の水平方向の表示範囲を調整します。	**Full**（フル） 通常はこの設定にします。	**Normal**（ノーマル） 業務用モニターなどに接続し、映像が乱れる場合はこの設定にします。
Wallpaper（壁紙設定） 再生の停止中や音声のみの再生時、セットアップメニュー表示中などの画面で表示される背景を設定します。	**Picture**（ピクチャー） DENONのロゴタイプを表示します。	**Blue**（ブルー） 背景を青色にします。
		Black（ブラック） 背景を黒色にします。
		Gray（グレー） 背景をグレー色にします。

《初期設定のしかた》

Audio（音声設定）

設定項目	初期設定	その他の設定値
BD Audio Mode（BD音声モード） インタラクティブオーディオや第一音声、第二音声などが記録されたBDの再生時に、すべての音声をマルチリニアPCM形式で出力するか、第一音声のみをビットストリーム形式で出力するかを設定します。	**Mix Audio Output** （音声ミックス出力） マルチリニアPCMの形式でインタラクティブオーディオや第一音声、第二音声などをすべて出力します。	**HD Audio Output** （HD音声出力） ビットストリームの形式で第一音声のみを高音質で出力します。
HDMI Audio Out（HDMI音声出力） HDMI出力端子から出力される音声信号のチャンネル数を設定します。	**HDMI Multi（Normal）** （HDMIマルチ ノーマル） HDMI出力端子からマルチチャンネルのビットストリーム音声信号を出力します。	**HDMI Multi（LPCM）** （HDMIマルチリニアPCM） HDMI出力端子からマルチチャンネルのリニアPCM音声信号を出力します。
		HDMI 2ch（HDMI 2チャンネル） HDMI出力端子からダウンミックスされた2チャンネルのリニアPCM音声信号を出力します。
		Audio Mute（消音） HDMI出力端子からの音声信号を出力を停止し、デジタル音声出力端子からの回路に切り換えます。
Digital Out（デジタル音声出力設定） “Audio Mute”の選択時に設定します。光伝送ケーブルまたは、同軸デジタルケーブルをDIGITAL OUT端子に接続して、音声のみをAVアンプなどで出力させる場合はこの設定を行います。HDMIケーブルで音声出力を行っている場合は、この設定は無効になります。	**Bitstream**（ビットストリーム） BDに収録されたドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDまたは、DTS-HDはドルビーデジタル部分のみまたはDTS部分のみをビットストリーム出力します。	**LPCM**（リニアPCM） BDに収録されたドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDまたは、DTS、DTS-HDをダウンミックスされた2chリニアPCMに変換し出力します。
7.1ch Audio Out （7.1チャンネル音声出力） アナログ7.1チャンネル音声出力端子から出力する音声形式を設定します。	**Multi Channel** （マルチチャンネル） マルチチャンネルで記録された音声信号をそのまま出力します。	**2 Channel** （2チャンネル） ダウンミックスされた2チャンネルの音声信号を出力します。
Down Sampling（ダウンサンプリング） 2chリニアPCMで記録されたBDやDVDの再生時のデジタル音声出力を設定します。	**Off**（切） 著作権保護のない2chリニアPCMの信号が記録されたBDまたはDVDの再生時、192kHzまでの2ch音声については、変換せずにそのまま出力します。	**On**（入） 48kHzより大きなサンプリング周波数の入力に対応していないAVアンプなどにデジタル接続しているときは、この設定にします。2chリニアPCMの信号を48kHzに変換して出力します。

設定項目	初期設定	その他の設定値
DRC（ダイナミックレンジコントロール） ドルビーデジタルで記録された音声の場合にのみ有効です。音量範囲を圧縮することで夜間の出力を抑制しながら音量が低い部分の音域レベルを上げることができます。	**Auto**（自動） ドルビーTrueHDの記録された DRC情報により、自動的に“On”または“Off”の処理を行います。ドルビーTrueHD以外を再生した場合では“Off”と同じ動作をします。	**Off**（切） 記録されたオリジナル音源で出力します。
		On（入） ドルビーデジタルの音声が記録された音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整します。
Source Direct（ソースダイレクト） “Speaker Setting”を行わずに、ディスク情報の音声をそのまま出力する場合に設定します。	**Off**（切） ディスク情報に加え、“Speaker Setting”の設定を有効にした音声の出力をします。	**On**（入） “Speaker Setting”の設定を無効にし、ディスク情報をそのまま音声出力します。
Bass Enhancer（バスエンハンサー） 2チャンネルなどLFE信号のないソースを再生しているときに、サブウーハーの出力を設定します。	**Off**（切） サブウーハーから音声を出力しません。	**On**（入） サブウーハーから音声を出力します。 ※“Speaker Configuration”の“Subwoofer”を“On”に設定してください。
Audio Adjust（オーディオアジャスト） 映像に対する音声の遅延量を設定します。 “CUSTOM” ⇨ “ ” ⇨ “Video” ⇨ “Audio/Video Sync”で設定された設定値（出力端子）にのみ有効です。	**0ms** （0ミリ秒） 遅延量はありません。	**0ms～200ms** （0ミリ秒～200ミリ秒） 遅延量を10ミリ秒ずつ増やします。
Virtual Surround（バーチャルサラウンド） バーチャルサラウンドを設定します。	**Off**（切） バーチャルサラウンドを無効にします。	**1** バーチャルサラウンドを標準に設定します。
		2 バーチャルサラウンドを強に設定します。

- 表内に ■ で示されている設定項目は“QUICK”で選ぶことができます。
- 本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。
- “Source Direct”を“On”に設定している場合は、“Bass Enhancer”や“Speaker Configuration”は選択できません。
- “HDMI Audio Out”や“7.1ch Audio Out”を“HDMI 2ch”や“2 Channel”に設定している場合は、“Bass Enhancer”は選択できません。
- BD Audio Mode” を “Mix Audio Output” に設定しているときに、インタラクティブオーディオや第二音声が収録されたBDの再生では、ドルビーデジタルの音声が出力されます。☞ 14ページ
- お買い上げ時の“BD Audio Mode”の設定は“Mix Audio Output”です。本機をHD対応アンプに接続して、高音質な第一音声のみを出力するときは、“BD Audio Mode”を“HD Audio Output”に設定してご使用ください。
- 音楽用CD、MP3、WMA、DivX®ファイルの再生では、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- “HDMI Multi (Normal)”選択時は、“Bass Enhancer”は機能しません。

Speaker Setting（スピーカー設定）

“HDMI Audio Out”で“HDMI Multi（LPCM）”または、“7.1ch Audio Out”で“Multi Channel”に設定すると、以下の設定が可能です。

設定項目		初期設定	その他の設定値
Speaker Configuration（スピーカー設定） お使いのスピーカーのサイズや性能に合わせた設定が可能です。低音域出力の強い大型スピーカーは“Large”に、低音域出力の弱い小型スピーカーは“Small”に設定します。スピーカーを接続していない場合は“None”（サブウーハーは“Off”）を選んでください。“Crossover Freq”では、“Small”のスピーカーにおいて、設定された周波数を下回る低音域の音声を、“Large”または“Subwoofer”から出力されるようにします。	**Front**（フロント）	**Large**（ラージ）	**Small**（スモール）
	Center（センター）	**Large**（ラージ）	**Small**（スモール）
			None（接続なし）*
	Subwoofer（サブウーハー）	**On**（入）	**Off**（切）*
	Surround（サラウンド）	**Large**（ラージ）	**Small**（スモール）
			None（接続なし）*
	Surround Back（サラウンドバック）	**Large**（ラージ）	**Small**（スモール）
			None（接続なし）*
	Crossover Freq（交差周波数）	**80Hz**（80Hz未満の低音）	**40Hz**（40Hz未満の低音）
			60Hz（60Hz未満の低音）
			100Hz（100Hz未満の低音）
			120Hz（120Hz未満の低音）
Channel Level（チャンネルレベル設定） お使いのスピーカーから出力される音量が同じに聞こえるように、それぞれのスピーカー音量の微調整をします。 “SW+10dB”で“On”を選ぶと、サブウーハーからの出力レベルを10dB増加させることができます。 “SW+10dB”は“7.1ch Audio Out”のみに有効な項目です。	**Test Tone**（テストトーン）	**Off**（切） テストトーンは出力しません。	**Manual**（手動） スピーカーから出力されるテストトーンのボリュームを調節しながら、チャンネルレベルを個別に選んで設定します。
			Auto（自動） ボリュームを調節しながら、テストトーンが出力されるスピーカーのチャンネルレベルを、自動で設定します。
	Front Lch（フロント左チャンネル）	**0dB**	**0dB ～ -12dB**
	Center（センター）	**0dB**	**0dB ～ -12dB**
	Front Rch（フロント右チャンネル）	**0dB**	**0dB ～ -12dB**
	Surround Rch（サラウンド 右チャンネル）	**0dB**	**0dB ～ -12dB**
	Surround Back Rch（サラウンドバック右チャンネル）	**0dB**	**0dB ～ -12dB**
	Surround Back Lch（サラウンドバック左チャンネル）	**0dB**	**0dB ～ -12dB**
	Surround Lch（サラウンド 左チャンネル）	**0dB**	**0dB ～ -12dB**
	Subwoofer（サブウーハー）	**0dB**	**0dB ～ -12dB**
	SW+10dB（サブウーハー+10dB）	**Off**（切）	**On**（入）

設定項目		初期設定	その他の設定値
Delay Time（ディレー時間設定） リスニングポジションに応じて各スピーカーやサブウーハーから出力される音声のタイミングを最適にするためのパラメーターです。	**Distance**（距離の単位）	**Meters**（メートル法）	**Feet**（ヤード・ポンド法）
	Front (L)（フロント 左）	**約3.6m**（12ft）	**0m～約18m**（0ft ～ 60ft）
	Front (R)（フロント 右）	**約3.6m**（12ft）	**0m～約18m**（0ft ～ 60ft）
	Center（センター）	**約3.6m**（12ft）	**0m～約18m**（0ft ～ 60ft）
	Surround (L)（サラウンド 左）	**約3.0m**（10ft）	**0m～約18m**（0ft ～ 60ft）
	Surround (R)（サラウンド 右）	**約3.0m**（10ft）	**0m～約18m**（0ft ～ 60ft）
	Surround Back (L)（サラウンドバック 左）	**約3.0m**（10ft）	**0m～約18m**（0ft ～ 60ft）
	Surround Back (R)（サラウンドバック 右）	**約3.0m**（10ft）	**0m～約18m**（0ft ～ 60ft）
	Subwoofer（サブウーハー）	**約3.6m**（12ft）	**0m～約18m**（0ft ～ 60ft）
	Default（初期化）	設定したディレー時間の数値をすべてお買い上げ時の設定に戻します。	

- テストトーンを停止させるには、[RETURN]を押してください。
- “Speaker Configuration”のうち、『＊』の付く設定値は、“7.1ch Audio Out”のみに有効な設定値です。本機をHDMIケーブルで接続しているときは、“Speaker Configuration”の“None”や“Off”は選択できません。
- 本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。
  【例】“HDMI Multi (LPCM)”から行う“Speaker Configuration”の設定では、サラウンドバックが出力できない5.1チャンネルAVアンプへの接続時など、設定が変更できない項目は灰色で表示され選択できません。
- “Speaker Configuration”のうち、一つの項目の設定値を変えると、各項目に連動してその他の設定値も自動的に変更されます。
  【例】“Front”を“Small”にした場合、“Subwoofer”が“On”に設定されます。また、“Center”や“Surround”、“Surround Back”の “Large”は、選択することができません。
- “Delay Time”の各スピーカーの距離の差は4.5m(15ft)までの範囲で調整できます。
- 5.1チャンネルに対応したAVアンプやデコーダを接続している場合は、“Speaker Configuration”の“Surround Back”は“None”に設定してください。

Ratings（視聴制限の設定）

パスワード設定することでお子様などに見せたくない成人向けBD、DVDの再生を制限（禁止）します。設定したレーティングを超えるディスクを再生した場合は再生を停止し、再生を行うにはパスワードを入力し、設定の解除が必要となります。

DVDレーティング

All	：制限なく、すべてのディスクの視聴ができます。
8 [ADULT]	：年齢に関係なく視聴ができます。
7 [NC-17]	：17歳未満のお子様は視聴できません。
6 [R]	：17歳未満のお子様が視聴するには保護者の指導が必要です。
5 [PGR]	：保護者同伴での視聴を推奨します。
4 [PG13]	：13歳未満のお子様の視聴には不適切なコンテンツが含まれています。
3 [PG]	：保護者の方の判断による視聴を提案します。
2 [G]	：一般的に視聴できる内容です。
1 [KID SAFE]	：お子様が視聴されても問題のない内容です。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶]で“CUSTOM”を選び、[ENTER]を押す。

3 数字ボタン[0～9]で4ケタのパスワードを入力する。

- 初めて視聴制限を設定されるときは、パスワードの設定が必要となります。「4737」以外の4ケタのパスワードを入力してください。
- パスワードの入力を間違えた場合は、**[CLEAR]**を押すと再入力ができます。

4 [▲/▼]で“BD Rating Level”(BDレーティング)または“DVD Rating Level”(DVDレーティング)を選び、[ENTER]を押す。

“BD Rating Level”の場合は、[▲/▼]でお好みの設定を選び、[ENTER]を押す。

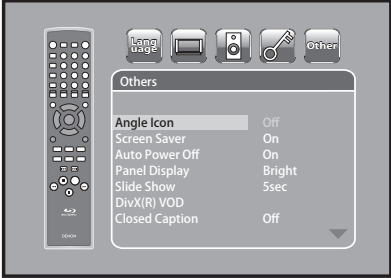
- “All”を選んだ場合、視聴制限は「制限なし」に設定され、すべてのディスクの視聴ができます。
- “Age Setting”を選ぶと年齢入力画面が表示されます。**数字ボタン[0～9]**で設定したい年齢を入力してください。
  【例】17歳以下の視聴制限があるBDを再生不可にする場合、数字ボタンの**[0]**、**[1]**、**[7]**（または、**[1]**、**[7]**、**[ENTER]**）を押します。

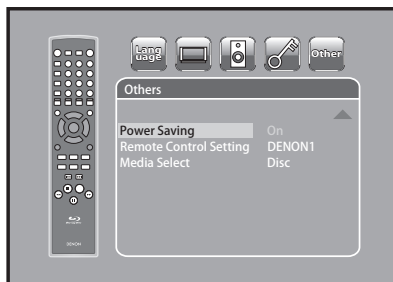
“DVD Rating Level”の場合は、[▲/▼]でお好みの設定を選び、[ENTER]を押す。

- “DVD Rating Level”の設定値については、上の表「DVDレーティング」をご覧ください。
- “Password Change”を選ぶとパスワードの変更ができます。**数字ボタン[0～9]**で新しい4ケタのパスワードを入力し、**[ENTER]**を押してください。

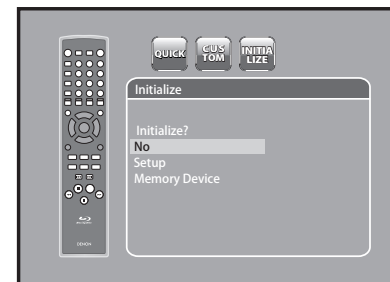
5 [SETUP]を押し、設定を完了する。

- 設定したパスワードは忘れないよう、必ずメモしてください。万が一お忘れになられた場合は、手順3で**[4]**、**[7]**、**[3]**、**[7]**を入力すると、お買い上げ時の状態に戻り、BD、DVDの視聴制限ともに“All”に戻ります。手順3を繰り返し新しいパスワードを再設定したのち、もう一度“Ratings”の設定をやり直してください。

Others（その他の設定）

設定項目	初期設定	その他の設定値
Angle Icon（アングルアイコン） マルチアングル機能の付いたBD、DVDの再生中、カメラアングルを切り換えられる場面でアングルアイコンを表示するように設定します。	**Off**（切） アングルアイコンを表示しません。	**On**（入） アングルアイコンを表示します。
Screen Saver（スクリーンセーバー） スクリーン（テレビ画面）に同じ映像を表示したまま放置するとき、テレビ画面の焼き付きを防ぐための設定です。	**On**（入） 操作をしない状態が約5分続くと、自動的にスクリーンセーバーが働きます。	**Off**（切） 操作をしない状態が続いても、スクリーンセーバーは実行されません。
Auto Power Off（オートパワーオフ） 一定時間、本機が無操作の状態にあるとき本機の電源を切るように変更できます。	**On**（入） 無操作状態が約30分続くと、自動的に本機の電源を切ります。	**Off**（切） 操作をしない状態が続いても、本機は起動しています。
Panel Display（パネルディスプレイ） 本体ディスプレイの照度を設定できます。リモコンの**[DIMMER]**で変更することも可能ですが、本機を再起動すると、“Panel Display”での設定が有効になります。	**Bright**（ブライト） ディスプレイを明るくします。	**Dimmer**（ディマー） ディスプレイを暗くします。 **Auto**（自動） 再生中は暗く、停止中は明るくなります。
Slide Show（スライドショー） JPEGファイルの表示間隔（時間）を設定します。	**5sec**（5秒） JPEGファイルの表示時間を約5秒ごとに切り換えます。	**10sec**（10秒） JPEGファイルの表示時間を約10秒ごとに切り換えます。
DivX(R) VOD DivX® VODのファイルをダウンロードする際に必要な登録番号を、この画面で確認します。	登録番号はダウンロードしたファイルを再生するたびに、その都度更新されます。DivX® VODについて、詳しくは下記の公式サイトにてご確認ください。 www.divx.com/vod	
Closed Caption （クローズドキャプション） クローズドキャプションデコーダ（別売品）を使った字幕を、画面に表示させる場合に設定します。	**Off**（切） 字幕（クローズドキャプション）を表示しません。	**On**（入） 字幕（クローズドキャプション）を表示します。

Others（その他の設定）つづき

設定項目	初期設定	その他の設定値
Power Saving（パワーセービング） 本機のスタンバイ時にRS-232C端子からの信号入力を受け付けず、待機電力を軽減するように設定できます。	**On**（入） 本機のスタンバイ時、RS-232C端子からの入力信号を受け付けず、待機電力が軽減します。	**Off**（切） 本機のスタンバイ時、RS-232C端子からの入力信号を受け付けますので待機電力は軽減しません。
Remote Control Setting （リモコンコード設定） リモコンで当社製のほかの機器と本機が同時に作動する場合に設定します。	**DENON1** リモコンコードをDENON1に設定します。	**DENON2** リモコンコードをDENON2に設定します。
Media Select（再生メディア選択） ディスクの再生またはSDカードの再生のいずれかを選択します。選択されていないメディアを挿入しても読み込みません。	**Disc**（ディスク） BD、DVD、音楽用CDなどディスクの再生を行うときは、この設定を選択します。	**SD Memory**（SDカード） SDカードからの再生を行うときは、この設定を選択します。

Initialize（初期化）

本機の設定をお買い上げ時の設定に戻すときや、SDカードのフォーマット（初期化）などを行います。

1 再生の停止中に[SETUP] を押す。

2 [◀/▶] で“ ”を選び、[ENTER] を押す。

3 [▲/▼] で“Setup”(本機設定の初期化)または“Memory Device”(SDカードのフォーマット)を選び、[ENTER] を押す。

“Setup”の場合は、もう一度[ENTER] を押す。

“Memory Device”の場合は、[▲/▼] で“Yes”を選び、[ENTER] を押す。

- 初期化をキャンセルする場合は“No”を選び、**[ENTER]**を押してください。

4 [SETUP]を押し、設定を完了する。

- セットアップメニューで本機設定の初期化を行ってもBD、DVDの視聴制限の設定は記憶しています。

言語コード一覧

言　語　名（順不同）	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語※（BUL）	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語※（CZE）	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語※（DAN）	5047
ドイツ語※（GER）	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語※（GRE）	5158
英語※（ENG）	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※（SPA）	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語※（FIN）	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261

言　語　名（順不同）	言語コード
フランス語※（FRE）	5264
フリジア語	5271
アイルランド語※（IRI）	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語※（HUN）	5467
アルメニア語	5471
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語※（ICE）	5565
イタリア語※（ITA）	5566
ヘブライ語	5569
日本語※（JPN）	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※（KOR）	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866

言　語　名（順不同）	言語コード
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※（DUT）	6058
ノルウェー語※（NOR）	6061
プロバンス語	6149
アファン語、オロモ語	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語※（POL）	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語※（POR）	6266
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語※（RUM）	6461
ロシア語※（RUS）	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語※（SLO）	6557

言　語　名（順不同）	言語コード
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語※（SWE）	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語※（TUR）	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※（CHI）	7254
ズール語	7267

※は[AUDIO]または[SUBTITLE]を押したとき、（　）で示されている3文字で、それ以外の言語は“---”で表示されます。

その他について

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか。

❏ 取扱説明書にしたがって正しく操作していますか。

本機が正常に動作しないときは、次の表にしたがってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もしお買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	チェック項目	関連ページ
電源が入らない。	□ 電源コードは本体背面にしっかりと接続されていますか。 □ 電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。 □ 安全保護装置が働いていることがあります。このときは一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。	15 – –
映像が映らない。	□ テレビの電源は入っていますか。 □ テレビの入力切換を本機を接続した外部入力に切り換えていますか。 □ HDMIケーブルの接続、およびディスプレイの"HDMI"が点灯しているか確認してください。 □ 映像/S映像/コンポーネント映像ケーブルの接続を確認してください。 □ ピュアダイレクトの設定が、"Video Off"または"All Off"になってる場合は、"Normal"または"Display Off"に切り換えてください。 □ 本機を接続したテレビやAVアンプなどはHDCPに対応していますか。HDCPに対応していない機器を接続した場合は、正常に映像が出力されません。お手持ちのテレビやAVアンプなどについては取扱説明書をご覧ください。 □ "I/P Direct"の設定が"On"の場合は、"Off"に切り換えてください。	– – 13 12 24 14 33
映像が映らない。 または、映像が乱れる。 BDビデオやDVDビデオの映像が、白黒画像になる。	□ 早送り/早戻しをした直後などでは、多少画像が乱れることがありますが、故障ではありません。 □ 本機の映像/S映像/色差映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。VTR（ビデオテープレコーダー）経由で接続しないでください。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。 □ 本機が対応していないディスクや、異なるリージョンコードのディスクが入っていませんか。（本機が対応しているリージョンコードは、BDビデオは「A」、DVDビデオは「2」または「ALL」です。）	– 12 6
音声がでない。 または、聞きづらい。	□ HDMIケーブルの接続、およびディスプレイの"HDMI"が点灯しているか確認してください。 □ 音声接続をしている機器やスピーカーの接続を確認してください。 □ 音声接続をしている機器の電源は入っていますか。また、入力切換を本機を接続した入力に切り換えていますか。 □ 音声出力の選択は正しく行われていますか。	13 12、15 – 34
再生中に画像が動かなくなる。	□ ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。ディスクを清掃したり、キズのないディスクと取り替えて再生してください。 □ ディスクに記録されたデータの中に、問題がある可能性があります。	8 –
►を押しても、再生が始まらない。 または、すぐに停止する。	□ 本機内部またはディスクに結露が発生していませんか。（電源を入れたまま、1～2時間放置してください。） □ ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。ディスクを清掃したり、傷のないディスクと取り替えて再生してください。 □ ディスクが裏返しに入っていませんか。再生したい記録面を下にして正しく入れ直してください。 □ 再生できないディスクが入っていませんか。6ページにあるマークがついたディスク以外は再生できません。	3 8 7 6
字幕が出ない。	□ 字幕の入っていないBDビデオ、DVDビデオまたはDivX®ファイルは字幕が表示されません。 □ 字幕言語の設定が"Off"になっていますので、字幕を設定してください。	19 32
SDカードが読み込まれない。	□ 互換性のないカードが入っている恐れがあります。または、本機が対応していない記録フォーマットは認識しません。	7
ディスクを取り出しても壁紙の画面が表示されない。	□ 内部エラーが発生している可能性があります。一度電源を切り、しばらく経ってから再び電源を入れてください。	–
リモコンで操作できない。	□ リモコン受光部に向けて操作していますか。 □ リモコン受光部との距離が7m以内のところで操作してください。 □ リモコン受光部との間にある障害物を取り除いてください。 □ 乾電池が消耗していますので、新しい乾電池に交換してください。 □ 乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れてください。 □ リモコンと本体のリモコンコードは合っていますか。	8 8 – 8 8 11
各ボタン操作ができない。 または、本機が反応しない。	□ ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。 □ 安全保護装置が働いていることがあります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。	16 –
再生中に操作ができない。	□ ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。 □ ディスクの説明書をお読みください。	16 –
再生可能ディスクが読み込まれない。	□ ピックアップレンズが汚れている可能性があります。修理に出される前に、市販のレンズクリーナーでレーザーピックアップを清掃してください。	–
アングルを変えて見ることができない。	□ 複数のアングルが記録されていないBDビデオまたはDVDビデオは、アングルを切り換えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	19、36
タイトルを選択しても再生が始まらない。	□ 視聴制限によって再生を禁止している可能性があります。"Ratings"の設定を確認してください	36
視聴制限で設定したパスワードを忘れた。	□ セットアップメニューの" "のパスワード入力画面で[4]、[7]、[3]、[7]を入力すると、登録されていたパスワードが消去されます。新たなパスワードを設定し直してください。	36

- **機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。**
- **ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。**
- **プログラム再生中は、ランダム再生や希望するトラックまたはファイルからの再生はできません。**
- **ディスクによっては使えない機能もあります。**

保証とサービスについて

1 この商品には保証書を添付しております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より2年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
ただし、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

主な仕様

❑ 本体

信号形式：	NTSC
対応ディスク / メモリーカード：	（1）BD/DVDビデオ：12cm / 8cm 片面1層、12cm / 8cm 両面2層（片面1層） （2）BD-R：12cm / 8cm 片面1層 （3）BD-RE：12cm / 8cm 片面1層 （4）DVD-R：12cm / 8cm 片面1層、片面2層 （5）DVD-RW：12cm / 8cm 片面1層 （6）音楽用CD（CD-DA）：12cm / 8cmディスク （7）CD-R/-RW：12cm / 8cmディスク （8）メモリーカード：SDカード / SDHCカード / miniSDカード /microSDカード
S映像出力：	Y出力レベル：1Vp-p (75Ω)　C出力レベル：0.286Vp-p 出力端子：S端子1系統
映像出力：	出力レベル：1Vp-p (75Ω) 出力端子：ピンジャック1系統
色差映像出力：	Y出力レベル：1Vp-p (75Ω)　PB/CB、PR/CR出力レベル：0.7Vp-p (75Ω) 出力端子：BNC端子1系統/ピンジャック1系統
HDMI出力：	出力端子：19ピンHDMI端子1系統 HDMI Ver. 1.3a (ディープカラー、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD対応)
アナログ音声出力：	出力レベル：2Vrms (10kΩ) 2チャンネル（L/R）　出力端子：ピンジャック1系統 7.1チャンネル（FL/FR/C/SL/SR/SW/SBL/SBR）出力端子：ピンジャック1系統
音声出力特性：	（1）周波数特性： ① BD（マルチリニアPCM）：4Hz〜22kHz（ 48kHzサンプリング）、4Hz〜44kHz（ 96kHzサンプリング）、4Hz〜88kHz（192kHzサンプリング） ② DVD（マルチリニアPCM）：4Hz〜22kHz（ 48kHzサンプリング）、4Hz〜44kHz（ 96kHzサンプリング） ③ 音楽用CD：4Hz〜20kHz （2）S/N比：125dB （3）全高調波歪率：1kHz 0.0008% （4）ダイナミックレンジ：110dB
デジタル音声出力：	出力端子：光1系統/同軸端子1系統
電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	65W（スタンバイ時：約0.8W）（電気用品安全法による）
外形寸法：	434（幅）×139（高さ）×399（奥行き）mm（突起物を含む）
質量：	10.3 kg

❑ リモコン(RC-1092)

リモコン方式：	赤外線パルス式
電源：	単3形乾電池2本使用
外形寸法：	52（幅）×227（高さ）×30（奥行き）mm
質量：	171g（乾電池を含む）

用語の解説

数字

4:3パンスキャン

4:3のテレビと本機を接続しワイド（16:9）ディスクを再生したときに、ディスクの制御情報にしたがって再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。

4:3レターボックス

4:3のテレビと本機を接続しワイド（16:9）ディスクを再生したときに、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

アルファベット

AAC（アドバンストオーディオコーディング）

わが国のデジタル放送（BS、CS、地上波）で採用されている音声高圧縮率符号化技術です。CD音質の音声データを約1/12まで圧縮することができ、現在のMPEG標準の中でも最も性能の良い音声符号化方式です。

BD-J (Java)（ビーディージェイ）

BDビデオでは、Javaアプリケーションを利用した、よりインタラクティブな機能（ゲームなど）を楽しめるソフトがあります。

Deep Color（ディープカラー）

従来の8ビットの色数を超える色調表現が可能な技術で、色縞のない、より自然に近い色を再現することができます。

DTS（ディーティーエス）

Digital Theater Systemの略で、DTS社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD（ディーティーエスエイチディー）

ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用された、従来のDTSをさらに高音質・高機能化したデジタル音声技術です。多チャンネル、高データ転送速度、高サンプリング周波数や、ロスレス・オーディオ再生をサポートしています。ブルーレイ・ディスクでは、最大7.1チャンネルまで対応しています。

HDCP（エイチディーシーピー）

機器間でデジタル信号を送受信する際に、信号を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防止する著作権保護技術の一つです。

HDMI（エイチディーエムアイ）

High-Definition Multimedia Interfaceの略で、BD/DVDレコーダーやBD/DVDプレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェースです。映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続できます。

LFE（エルエフイー）

Low Frequency Effectの略で、低音部の効果音を強調するための出力チャンネルです。20Hz～120Hzの重低音を出力することで、サラウンド音声に迫力を加えることができます。

MPEG（エムペグ）

Moving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。BDやDVDの映像は、この方式で記録されています。

ア行

アスペクト比

テレビ画面の縦横比率です。従来のテレビ画面の比率は4:3で、ワイドスクリーンテレビの画面の比率は16:9です。

インターレース（飛び越し走査）

テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、映像の1フレームを2つのフィールドとして半分ずつ表示します。

インタラクティブオーディオ

BDビデオのタイトルなどに収録されている、操作しているときのクリック音などの音声です。

カ行

拡張子

OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドとアルファベットで構成されています。

サ行

視聴年齢制限

視聴者の年齢に合わせ、暴力シーンなどを含むBDビデオやDVDビデオの再生を制限する機能です。本機では、BDビデオは1～254、DVDビデオは1～8のレベルで視聴制限を設定できます。

タ行

タイトル

BDビデオやDVDビデオに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。

ダイナミックレンジ

ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。

ダウンミックス

サラウンド音声のチャンネル数を、より少ないチャンネル数に変換して再生する機能です。

チャプター

タイトルの中にある章をチャプターといいます。

ドルビーTrueHD

ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用されたロスレス符号化技術で、7.1チャンネルに対応しています。

ドルビーデジタル（5.1chサラウンド）

ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタルの拡張版で、ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用された高音質デジタル音声技術です。

ハ行

ピクチャー・イン・ピクチャー

主映像で本編を視聴しながら、副映像でメイキングやコメンタリーなどの映像を視聴するBDビデオの機能です。

ビットレート

ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。

ファイナライズ

DVD録画機器において録画したディスクをほかのBD/DVDプレーヤーなどで再生できるようにする場合に行います。

プレイリスト

オリジナルの映像とは別に編集用に作成された映像のことで、オリジナルの映像のお好みのシーンを順番に再生することができます。

ブルーレイ・ディスク

片面1層のディスクで25GBの容量を持つ、ハイビジョン映像の映画やゲームなどの記録に対応したディスクです。

プログレッシブ（順次走査）

映像の1フレームを1つの画像として表示するためちらつきが少なく、高画質の映像で再生します。

ポップアップメニュー

BDでは、本編を背景で再生しながら画面手前にメニューを表示し、各種設定やチャプターを選択することができます。

ラ行

リージョンコード

BDビデオやDVDビデオを再生できる国や地域を示すコードです。本機では、BDビデオのリージョンコードは「A」、DVDビデオのリージョンコードは「2」または「ALL」のビデオソフトを再生することができます。

リニアPCM

圧縮していないPCM（Pulse Code Modulation）信号です。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が192kHzや96kHz、48kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

リモコンコード

本機の近くに、当社製のほかのBDプレーヤーなどがある場合、本機のリモコンを操作したときに、そのプレーヤーが同時に動作する場合があります。本体とリモコンを、それぞれのリモコンコードに変更することで、2台のプレーヤー本体が同時に動かないように設定できます。本機側とリモコン側のリモコンコードが異なる場合は、リモコンで本体の操作ができなくなります。

索引

☞ 英数　ページ

☞ あ行　ページ

☞ か行　ページ

《その他について》

☞ さ行　ページ

《その他について》

☞ た行 ページ

☞ は行 ページ

☞ ま行 ページ

☞ ら行 ページ

株式会社デノンコンシューマーマーケティング

本　　社　〒104-0033 東京都中央区荒川1-21-2
茅場町タワー14Ｆ

お客様相談センター　TEL：**045-670-5555**
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
(弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問合わせ先（サービスセンター）については、
次のＵＲＬでもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China
541 110020 501D

E5E02JD / E5H02JD
1VMN24973D ★